

登録数—部位別 <2020年>

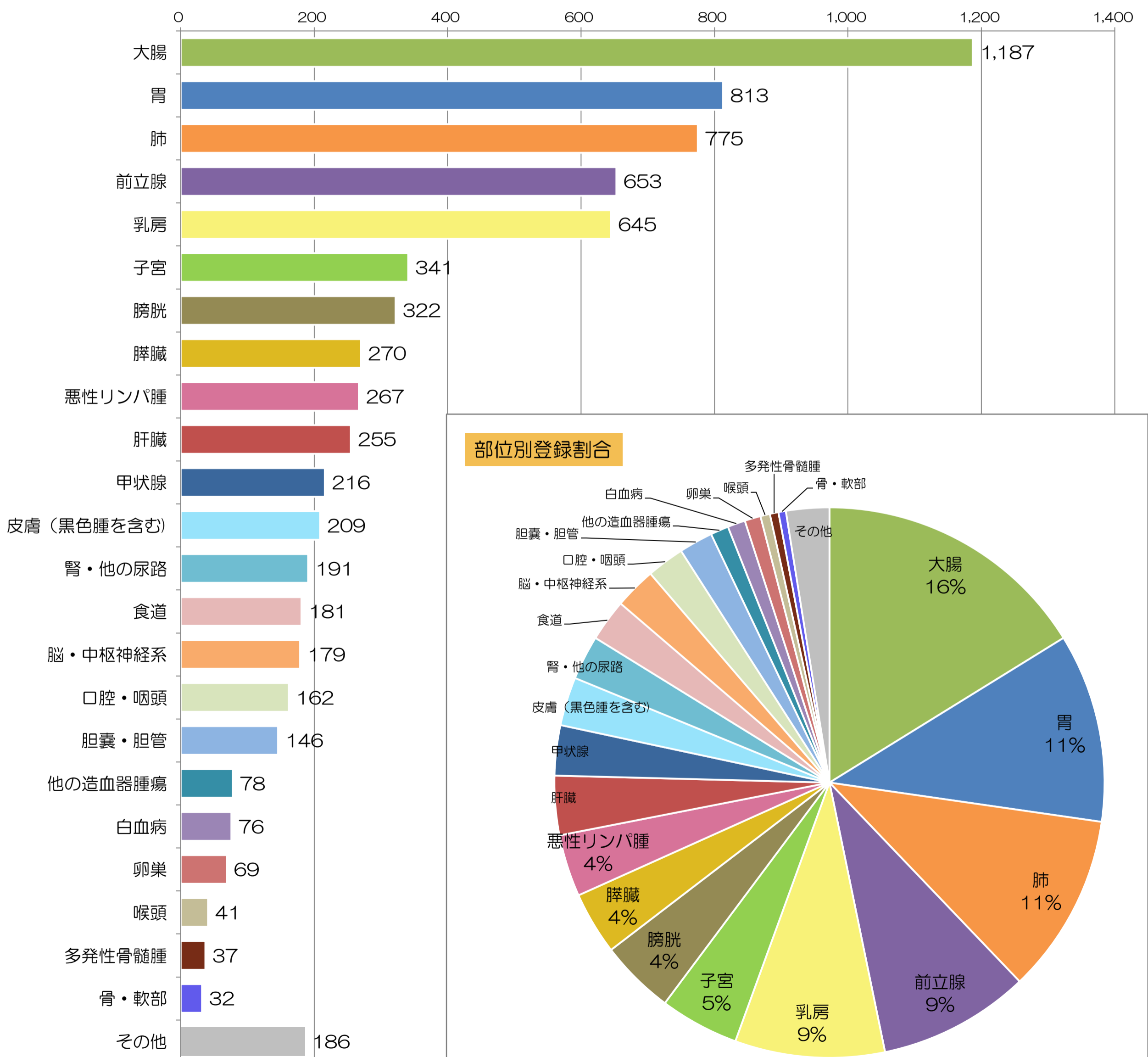
登録数は、男性は4,125件、女性は3,206件で合計は7,331件となる。

部位別には、男性では、大腸が最も多く672件、次いで、前立腺が653件、胃が562件、肺が550件、膀胱256件、女性では、乳房が最も多く644件、次いで大腸が515件、子宮が341件、胃が251件、肺が225件の順となる。

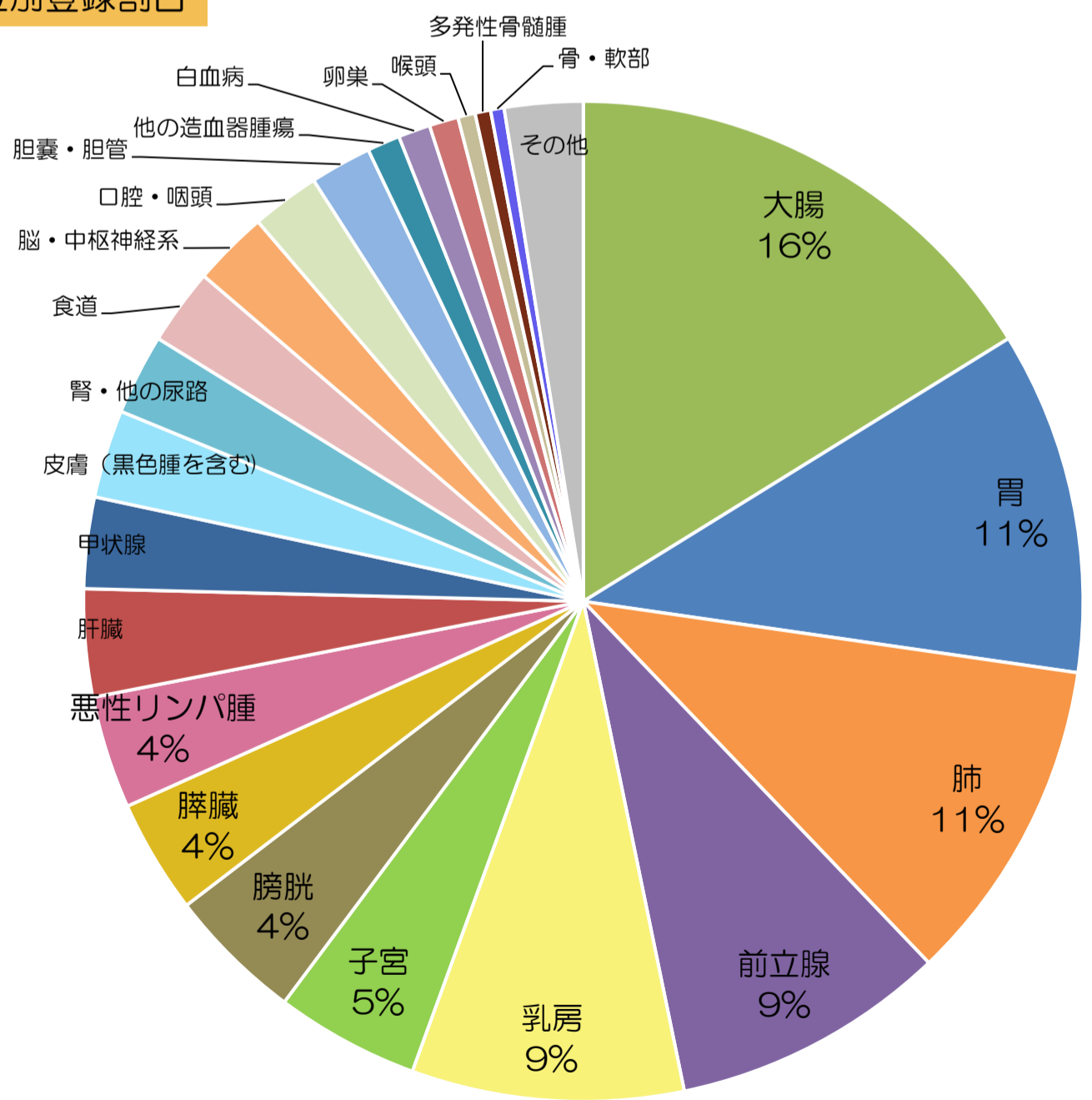
男女別割合は、男性が56%、女性が44%で、脳・中枢神経系、甲状腺、皮膚以外のほとんどの部位で男性が多い。男性の登録数が女性の登録数の2倍以上を示す部位は、食道で最も大きく6.2倍、次いで膀胱が3.9倍、口腔・咽頭、胃、肝臓、肺などが2倍強である。

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	喉頭	肺	骨・軟部	皮膚(黒色腫を含む)	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	腎・他の尿路	脳・中枢神経系	甲状腺	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の造血器腫瘍	その他	合計
男性	117	156	562	672	183	78	147	39	550	18	98	(1-3)	-	-	653	256	110	80	50	144	15	49	52	95	4,125
女性	45	25	251	515	72	68	123	(1-3)	225	14	111	644	341	69	-	66	81	99	166	123	22	27	26	91	3,206
合計	162	181	813	1,187	255	146	270	41	775	32	209	645	341	69	653	322	191	179	216	267	37	76	78	186	7,331

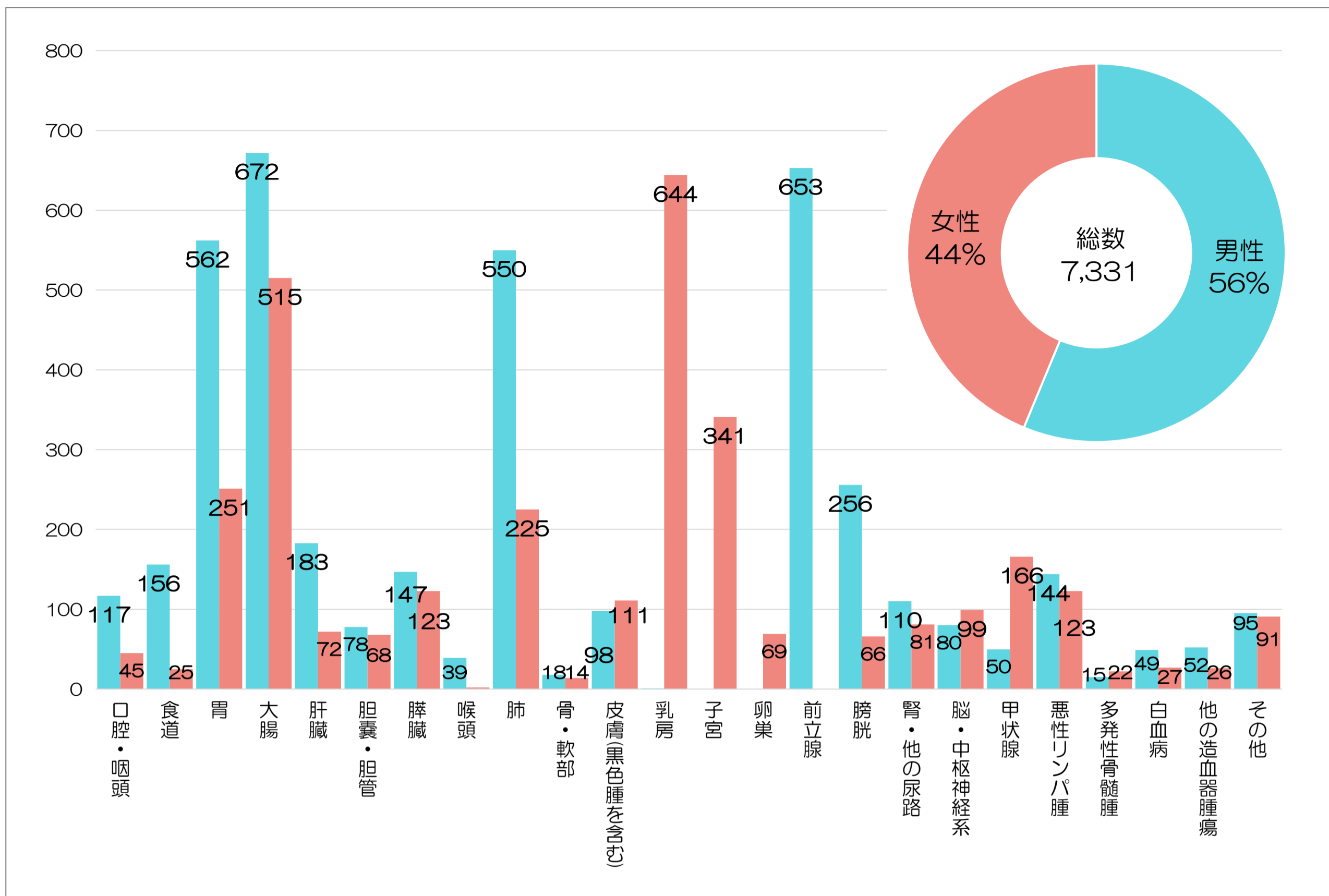
部位別登録数



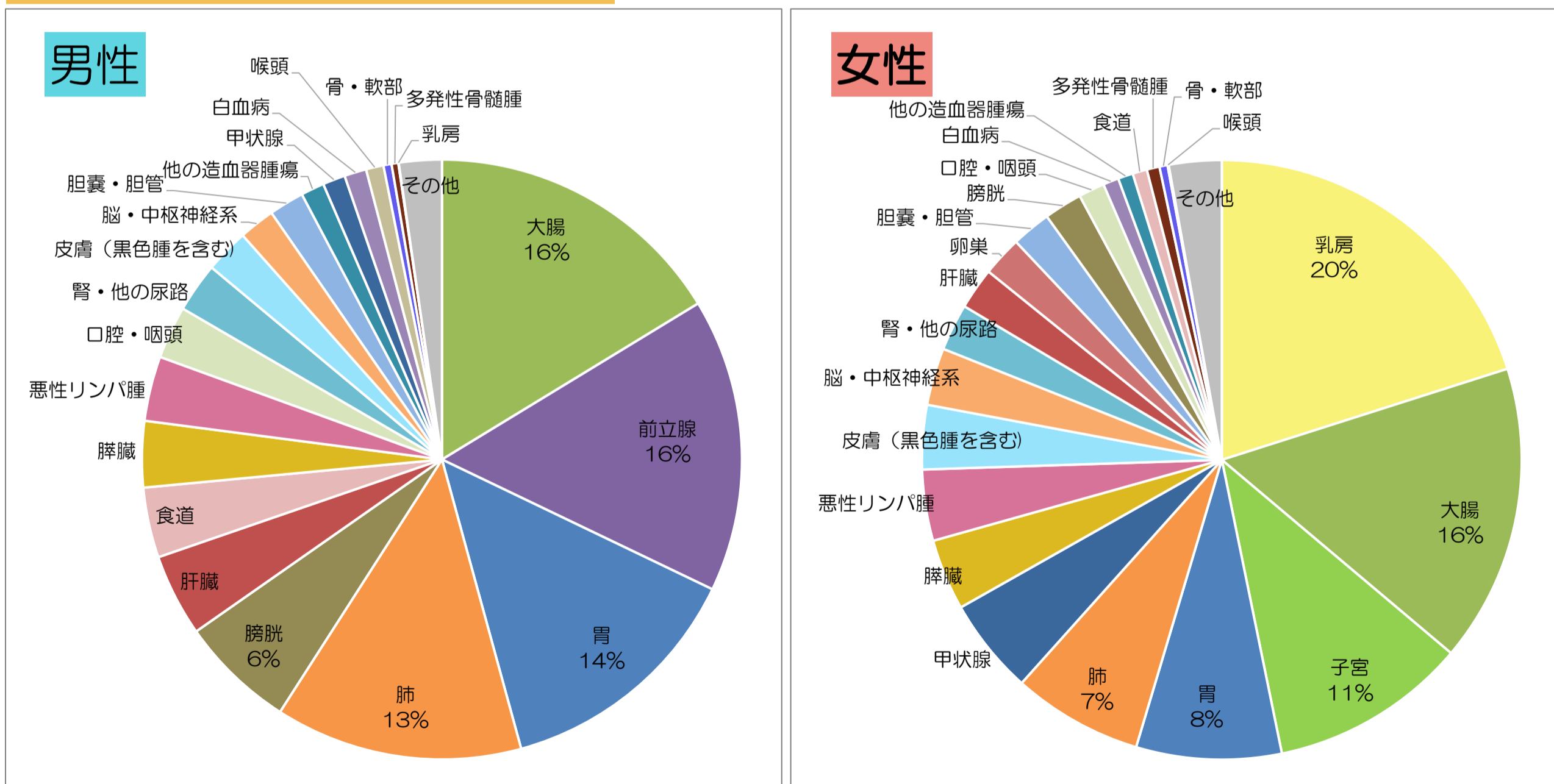
部位別登録割合



登録数一部位別【男女別】 <2020年>



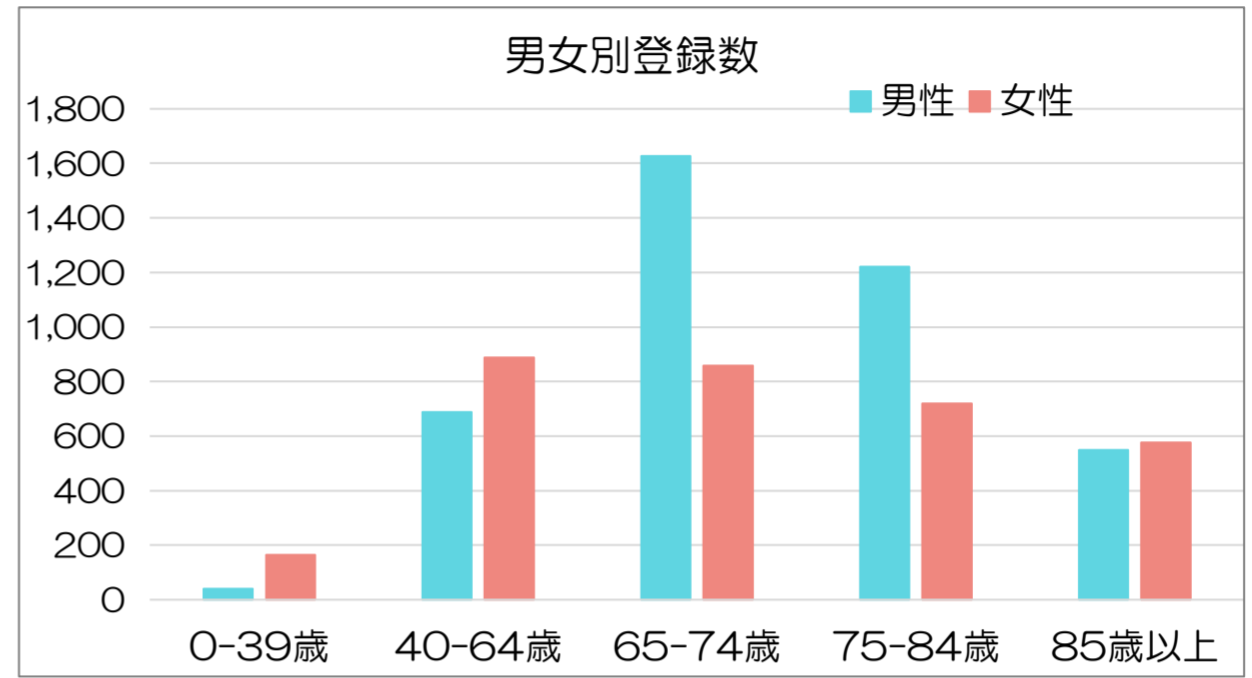
部位別登録割合【男女別】 <2020年>



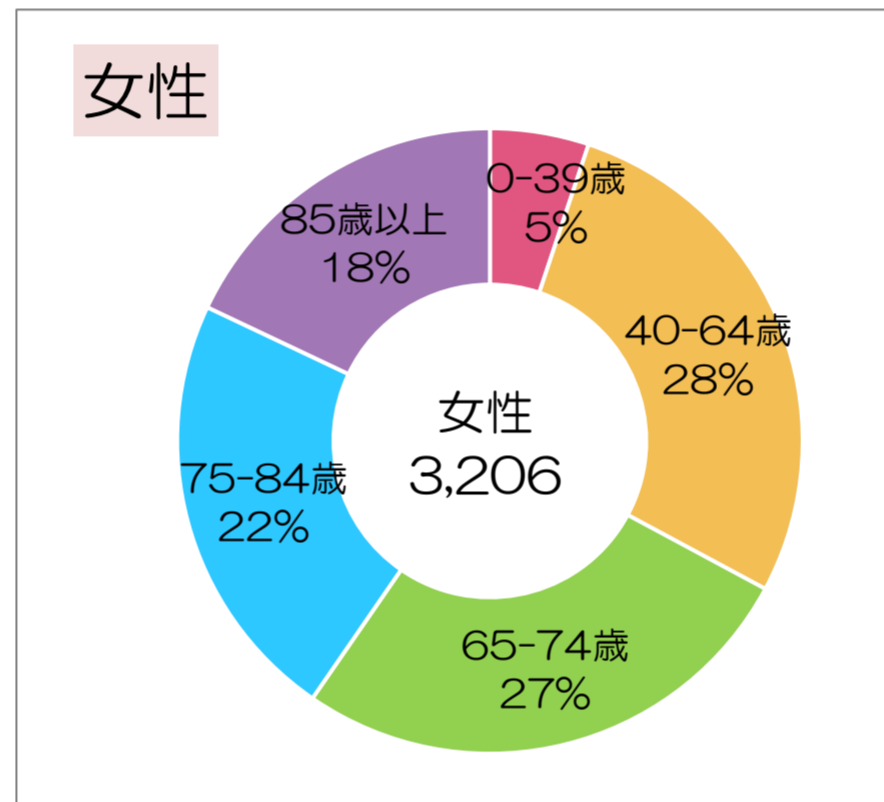
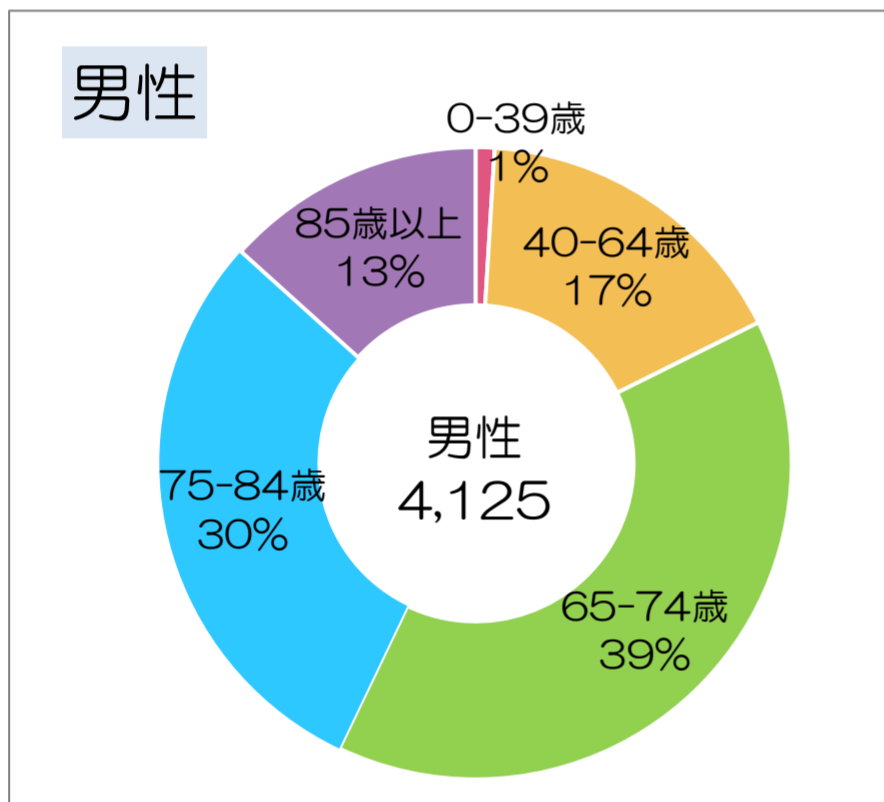
登録数—年齢階級別【男女別】〈2020年〉

年齢階級別には、男性では、65-74歳にピークが見られる。女性では、40-64歳が最も多く、次いで65-74歳、75-84歳の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性で82%、女性では67%を占め、男性が15%も多い。
 部位別には、0-39歳の男性では、多い順に脳・中枢神経系、悪性リンパ腫、など、女性では、子宮、乳房、40-64歳の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65-74歳の男性では、大腸、前立腺、肺、胃、女性では、乳房、大腸、75-84歳の男性では、前立腺、大腸、肺、胃、女性では、大腸、乳房、胃、肺、85歳以上では、男性は前立腺、胃、肺、大腸、女性は大腸である。

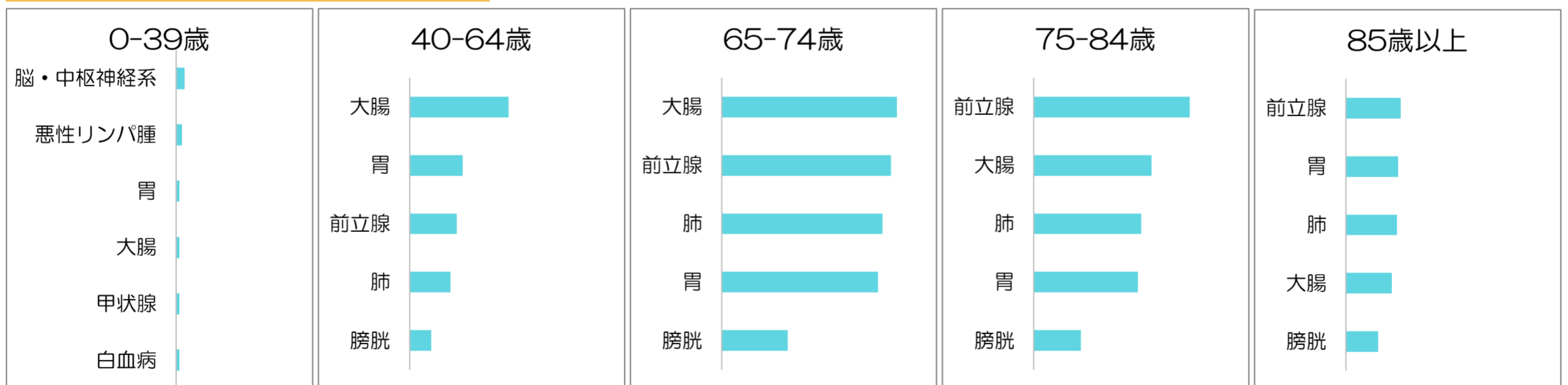
年齢階級別	登録数		
	男性	女性	合計
0-39歳	40	164	204
40-64歳	688	889	1,577
65-74歳	1,627	858	2,485
75-84歳	1,221	719	1,940
85歳以上	549	576	1,125
合計	4,125	3,206	7,331



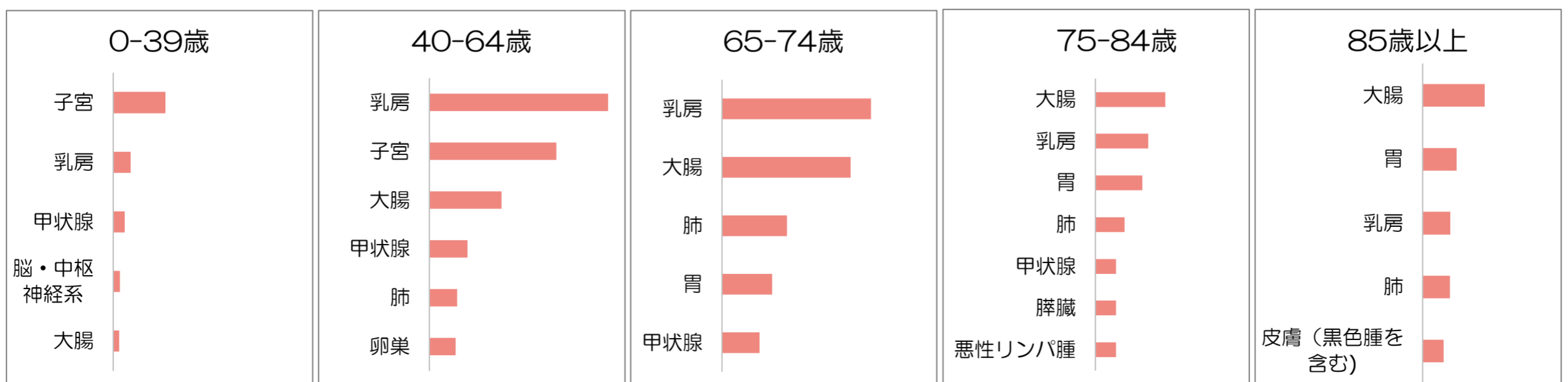
年齢階級別登録割合



年齢階級別登録数の上位5部位—男性



年齢階級別登録数の上位5部位—女性



来院経路別登録数 <2020年>

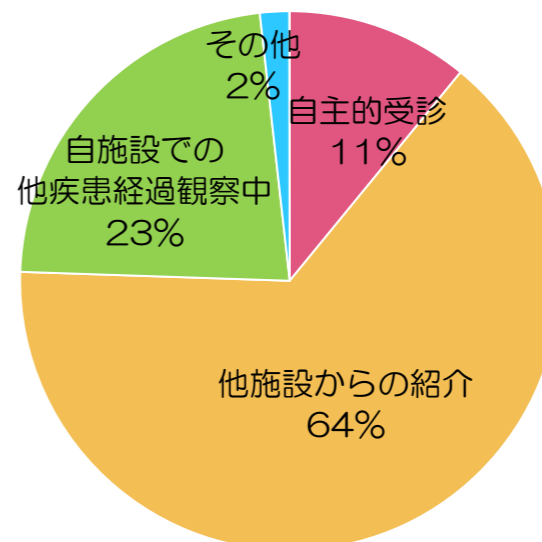
来院経路別には、「他施設からの紹介」が64%を占めて最も多く、次いで「自施設で他疾患経過観察中」が23%、「自主的受診」は11%と少ない。

全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少なく、「自施設で他疾患経過観察中」は全国より多い。

施設別には、「自主的受診」は鳥取生協病院、野島病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院で最も多い。

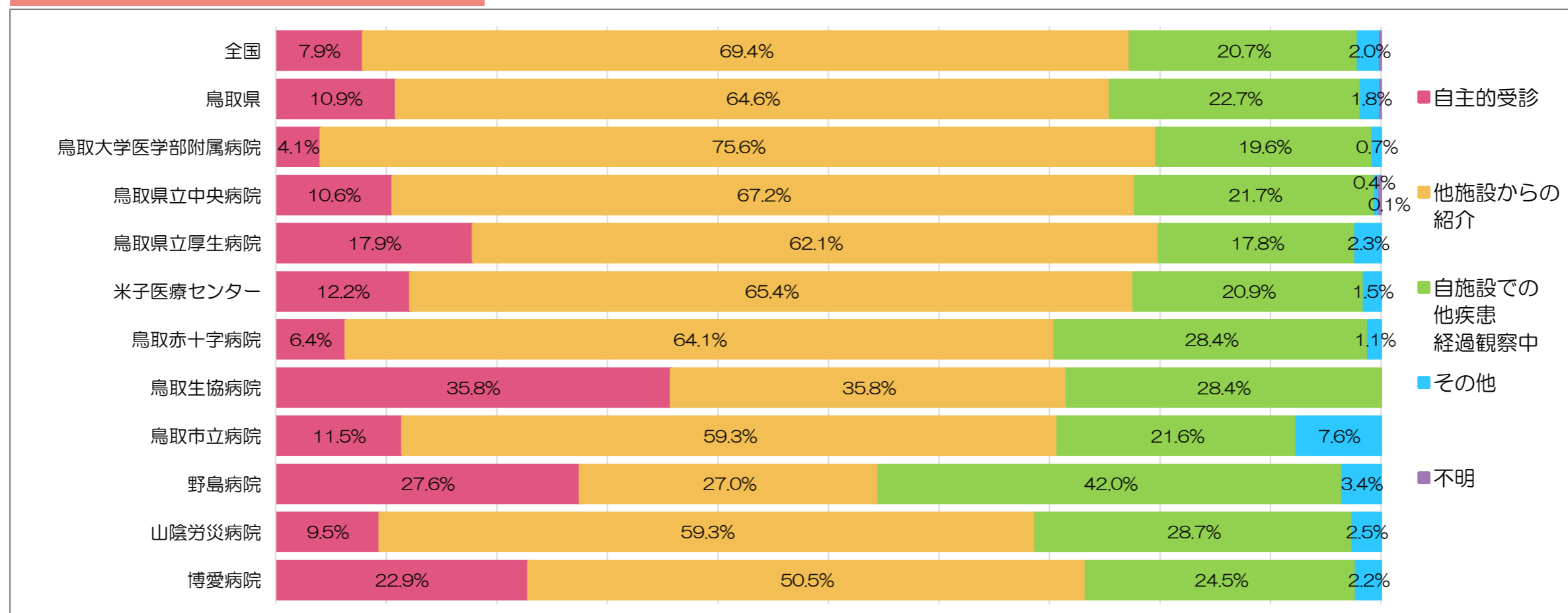
部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は子宮体部が最も多く、次いで前立腺が多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）

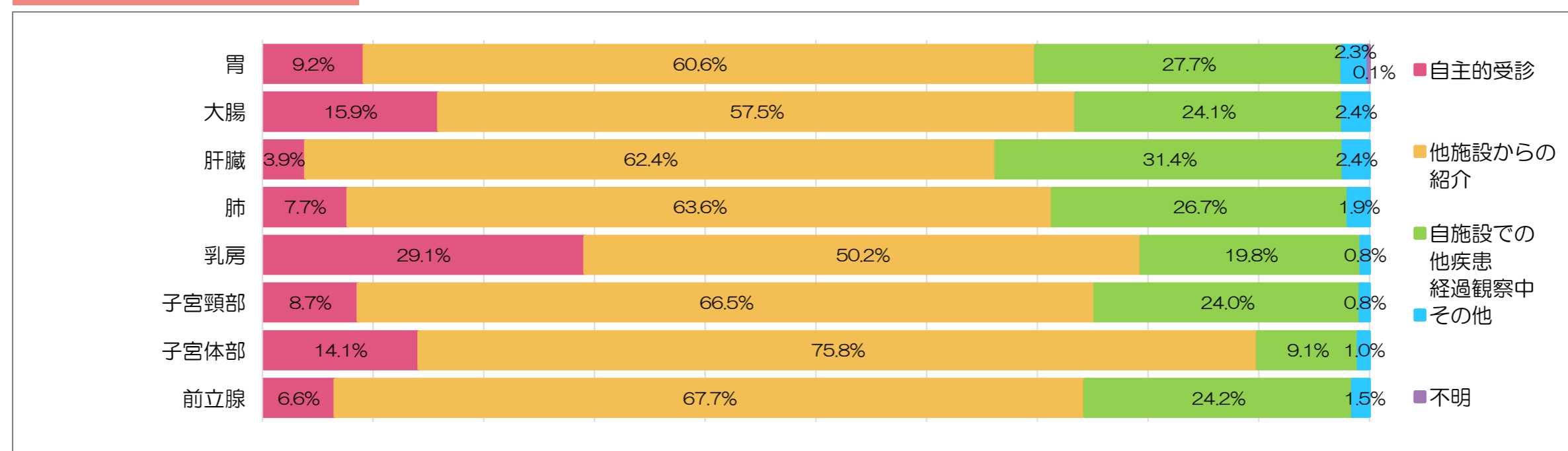


	自主的受診	他施設からの紹介	自施設での他疾患経過観察中	その他	不明	合計
全国	80,420	703,133	209,337	20,288	311	1,013,489
鳥取県	801	4,736	1,664	129	(1-3)	7,331
鳥取大学医学部附属病院	86	1,582	409	15	-	2,092
鳥取県立中央病院	107	678	219	(4-6)	(1-3)	1,009
鳥取県立厚生病院	141	489	140	18	-	788
米子医療センター	89	477	152	11	-	729
鳥取赤十字病院	52	524	232	(7-9)	-	817
鳥取生協病院	82	82	65	-	-	229
鳥取市立病院	67	345	126	44	-	582
野島病院	48	47	73	(4-6)	-	174
山陰労災病院	56	351	170	15	-	592
博愛病院	73	161	78	(7-9)	-	319

来院経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



来院経路別登録割合（主要部位）



発見経緯別登録数 <2020年>

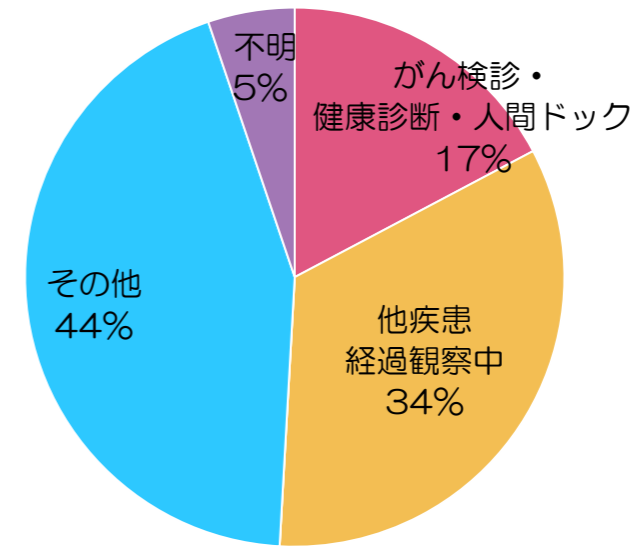
発見経緯別には、「他疾患経過観察中」が34%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は17%と少ない。

なお、「その他」が44%と多いが、「その他」には自覚症状による受診も含まれるため、割合が多くなっていると予測される。

全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は鳥取県が全国より約4%多く、施設別には博愛病院が28%と最も多い。

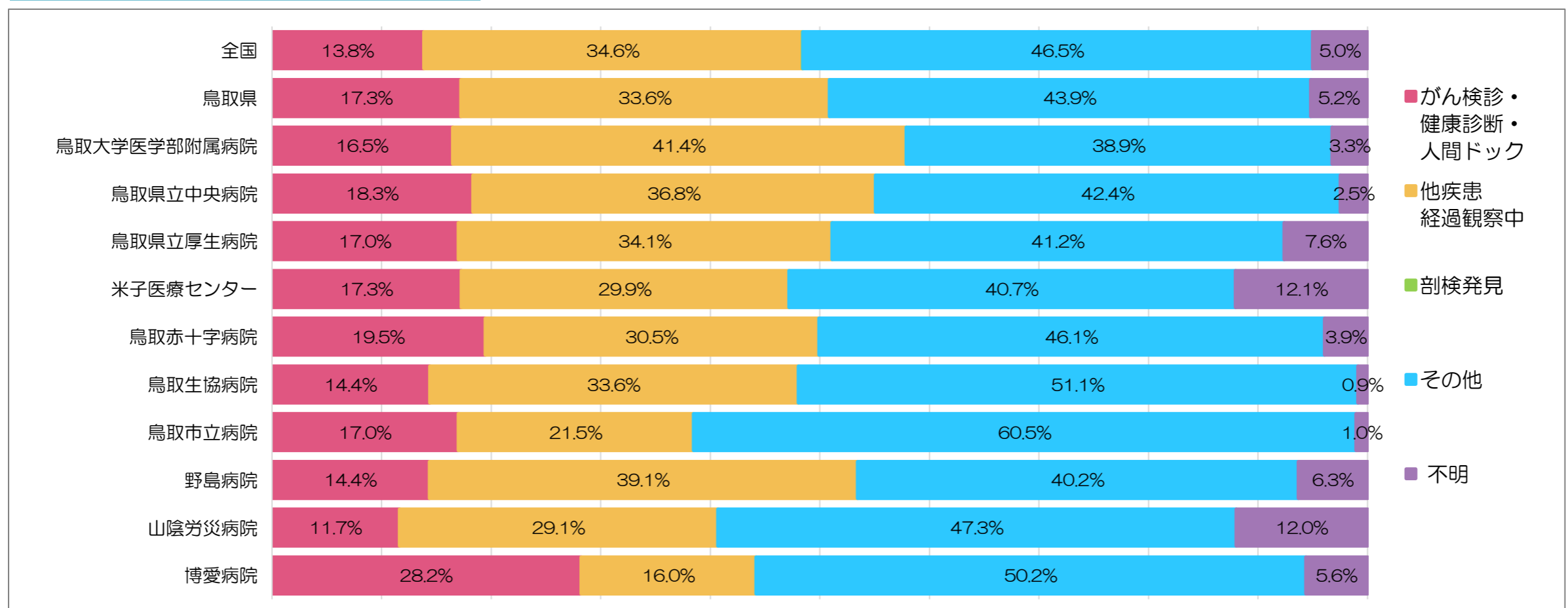
部位別には、「がん検診・健康診断・人間ドック」は子宮頸部、乳房、胃、大腸、前立腺の順で多く、「他疾患経過観察中」は肝臓が60%と最も多い。

発見経緯別登録割合（鳥取県）

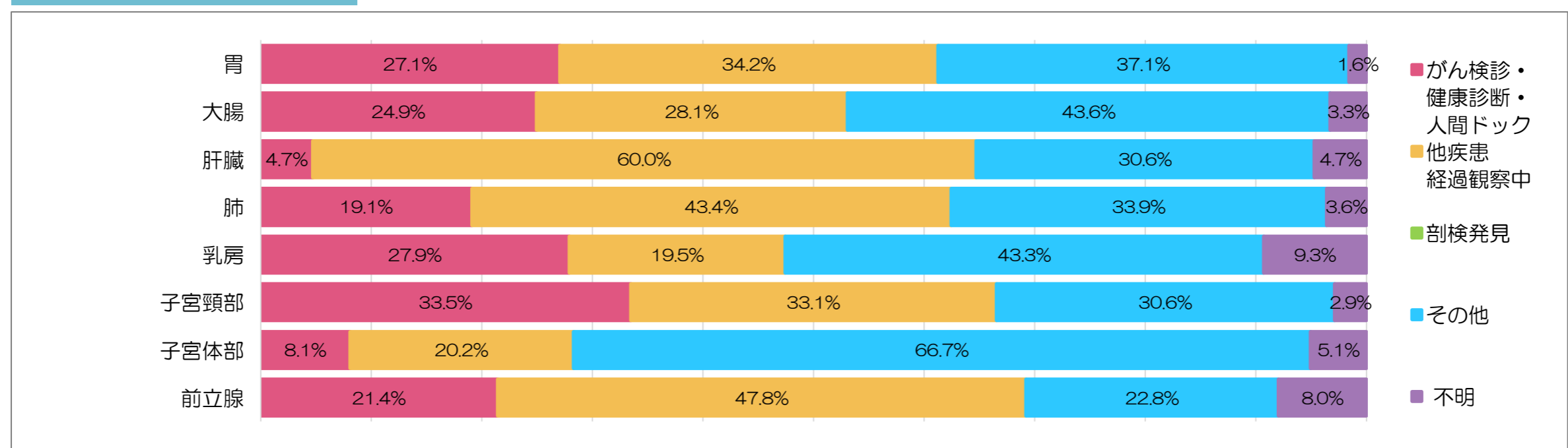


	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	合計
全国	140,364	350,579	60	471,690	50,796	1,013,489
鳥取県	1,265	2,466	-	3,219	381	7,331
鳥取大学医学部附属病院	345	866	-	813	68	2,092
鳥取県立中央病院	185	371	-	428	25	1,009
鳥取県立厚生病院	134	269	-	325	60	788
米子医療センター	126	218	-	297	88	729
鳥取赤十字病院	159	249	-	377	32	817
鳥取生協病院	33	77	-	117	(1-3)	229
鳥取市立病院	99	125	-	352	(4-6)	582
野島病院	25	68	-	70	11	174
山陰労災病院	69	172	-	280	71	592
博愛病院	90	51	-	160	18	319

発見経緯別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



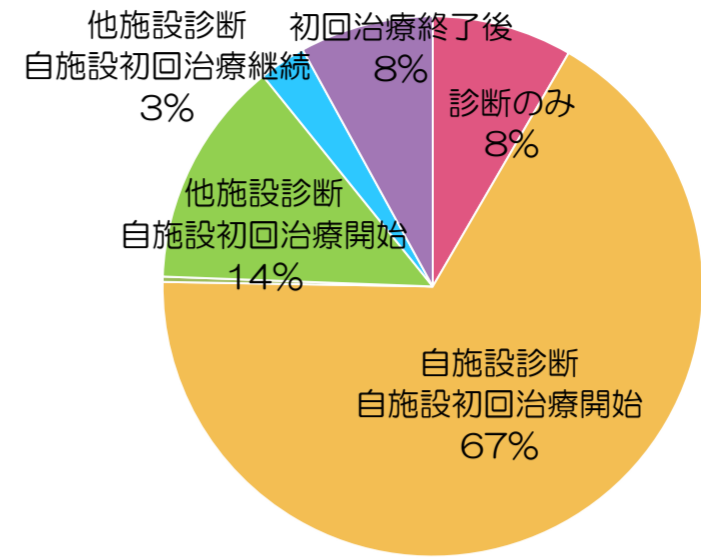
発見経緯別登録割合（主要部位）



症例区分別登録数 <2020年>

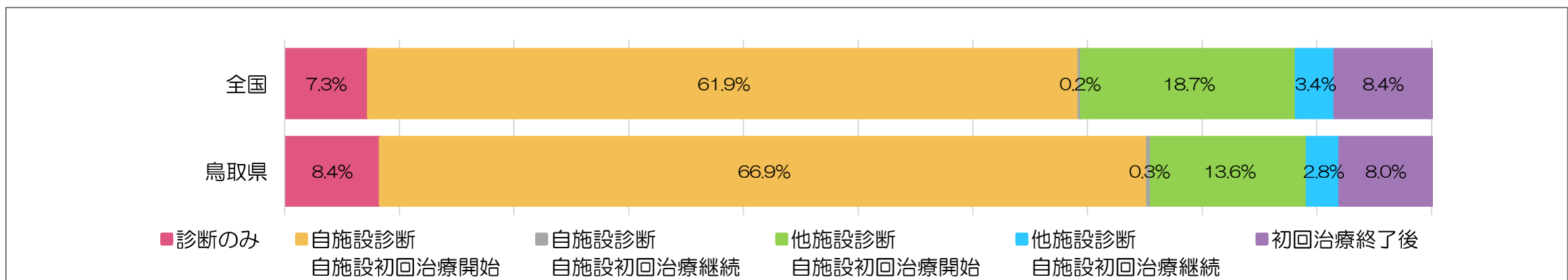
症例区分別には、「診断のみ」は8%で、ほとんどは自施設で診断し、自施設で初回治療を行う「自施設診断自施設初回治療開始」（67%）であり、他施設で診断し、自施設で初回治療を行う「他施設診断自施設初回治療開始」は14%である。全国比較では、鳥取県は「診断のみ」と「自施設初回治療開始」が多く、「他施設診断初回治療開始・継続」と「初回治療終了後」の割合は少ない。施設別には、「診断のみ」は博愛病院、山陰労災病院など準拠点病院で高い。拠点病院では、特に鳥取大学医学部附属病院で「診断のみ」が2.7%で最も低く、「他施設診断自施設初回治療開始」は28.3%で最も高い。他方、「初回治療終了後」は、米子医療センターの17.7%が最も高く、次いで鳥取県立厚生病院の15.5%、山陰労災病院の13.2%の順で高い。

症例区分別登録割合（鳥取県）

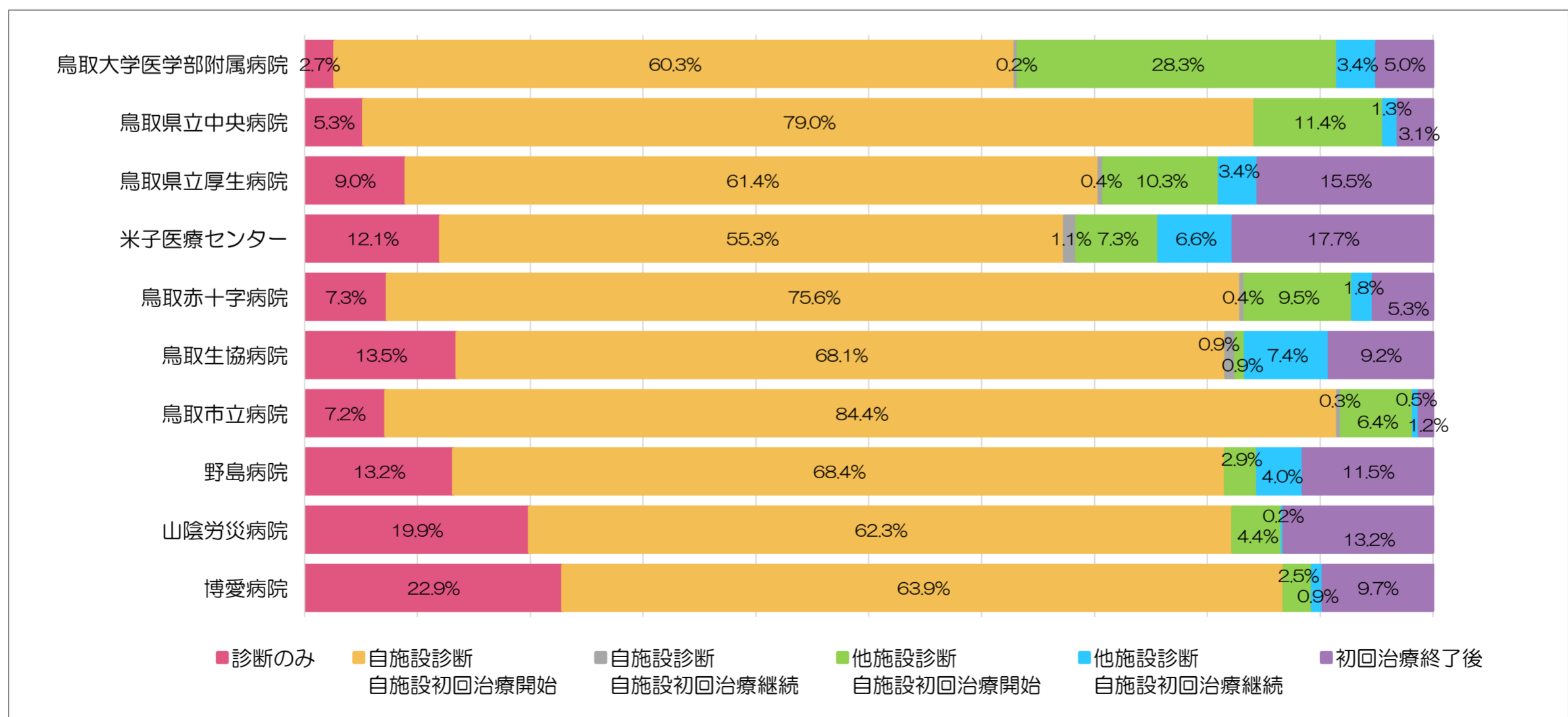


	診断のみ	自施設診断 自施設 初回治療開始	自施設診断 自施設 初回治療継続	他施設診断 自施設 初回治療開始	他施設診断 自施設 初回治療継続	初回治療終了後	合計
全国	74,431	627,710	2,011	189,863	34,059	85,415	1,013,489
鳥取県	615	4,903	23	998	206	586	7,331
鳥取大学医学部附属病院	56	1,262	(4-6)	593	72	104	2,092
鳥取県立中央病院	53	797	-	115	13	31	1,009
鳥取県立厚生病院	71	484	(1-3)	81	27	122	788
米子医療センター	88	403	(7-9)	53	48	129	729
鳥取赤十字病院	60	618	(1-3)	78	15	43	817
鳥取生協病院	31	156	(1-3)	(1-3)	17	21	229
鳥取市立病院	42	491	(1-3)	37	(1-3)	(7-9)	582
野島病院	23	119	-	(4-6)	(7-9)	20	174
山陰労災病院	118	369	-	26	(1-3)	78	592
博愛病院	73	204	-	(7-9)	(1-3)	31	319

症例区分別登録割合（全国・鳥取県）



症例区分別登録割合（施設別）



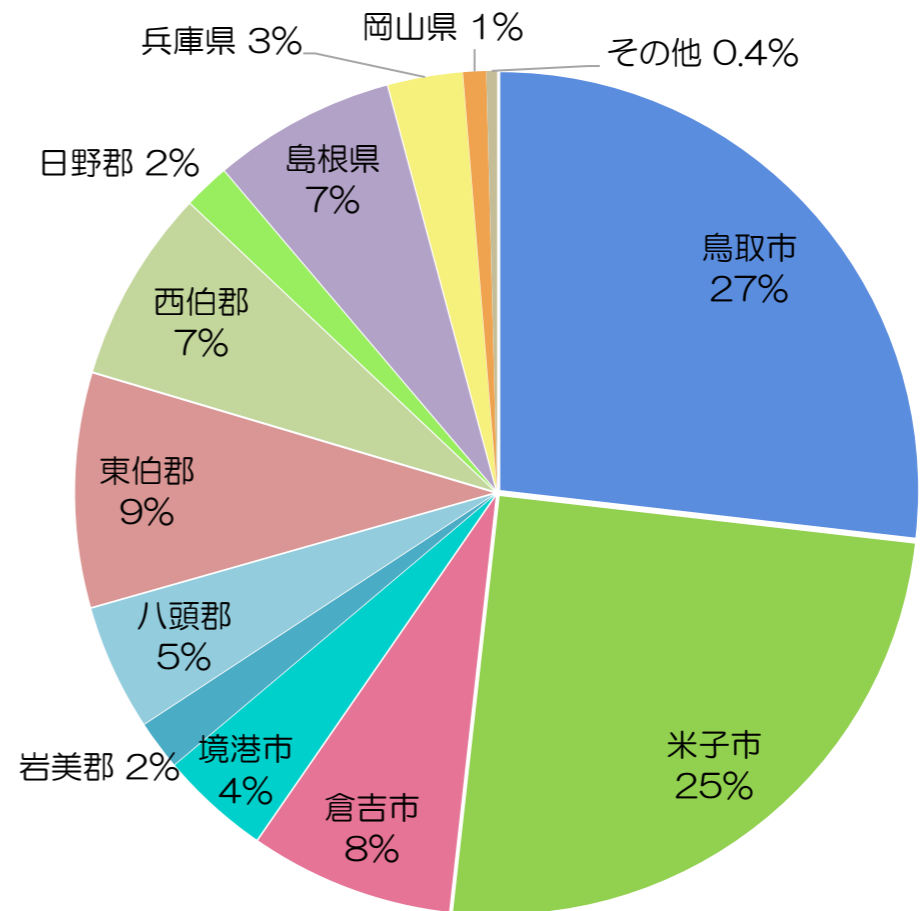
診断時住所別登録数 <2020年>

診断時住所別には、鳥取県内では、鳥取市が最も多く27%、次いで米子市の25%で、両市で半数の52%を占める。次いで東伯郡が9%、倉吉市の8%、西伯郡の7%、八頭郡の5%、境港市の4%、岩美郡、日野郡の2%の順で続く。県外住所では、島根県が7%、兵庫県が3%、岡山県が1%を占める。

施設別には東部では、鳥取県立中央病院の1,009件、次いで鳥取赤十字病院の817件、鳥取市立病院の582件、鳥取生協病院の229件である。中部では、鳥取県立厚生病院の788件、野島病院の174件、西部では、鳥取大学医学部附属病院の2,092件が最も多く、次いで米子医療センターの729件、山陰労災病院の592件、博愛病院の319件である。

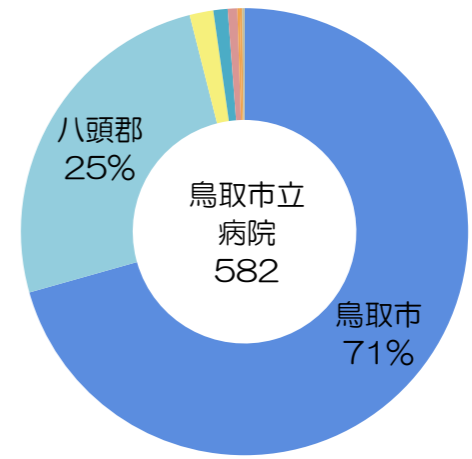
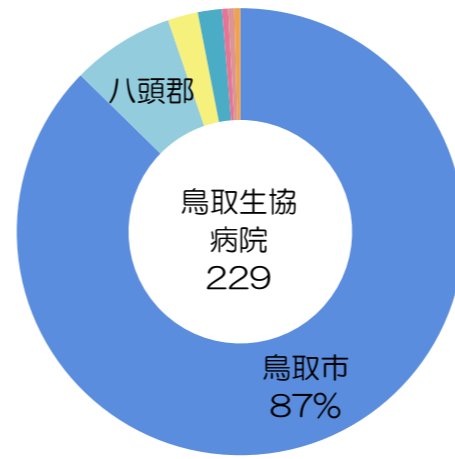
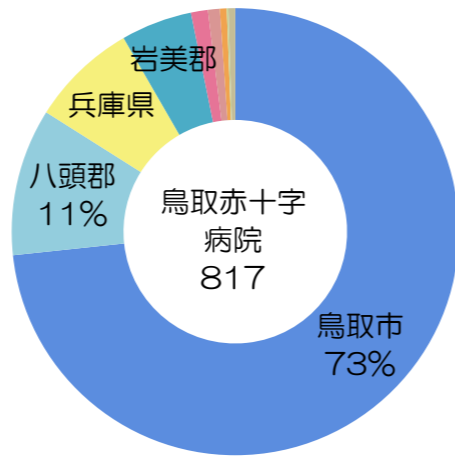
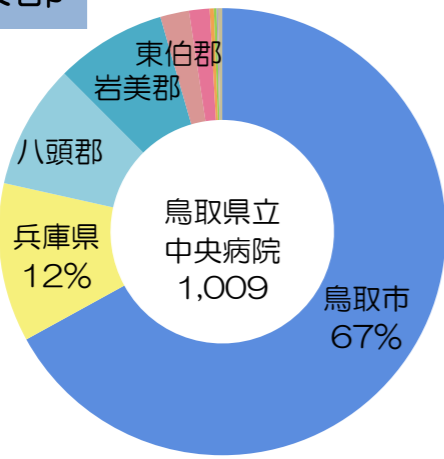
とりわけ、鳥取大学医学部附属病院は、米子市をはじめとする西部地域の診断時住所が大半であったが、島根県の19%をはじめとし、東伯郡、倉吉市、鳥取市など西部地域外からの患者がほぼ40%を占めるのが注目される。

診断時住所別登録割合(鳥取県全体)

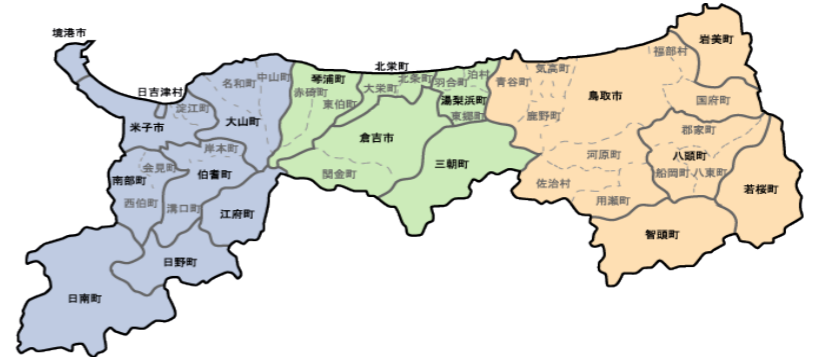
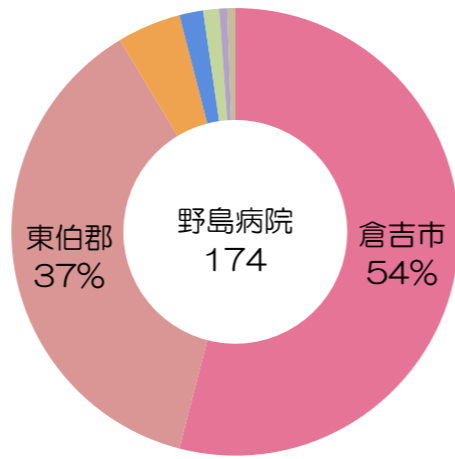
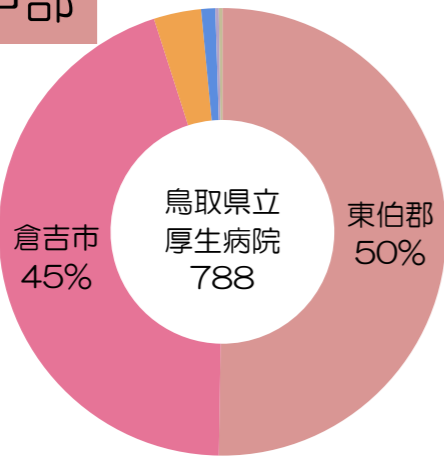


住所	鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美郡	八頭郡	東伯郡	西伯郡	日野郡	島根県	兵庫県	岡山県	その他	合計
登録数	1,966	1,830	575	310	139	355	661	545	129	515	211	65	30	7,331

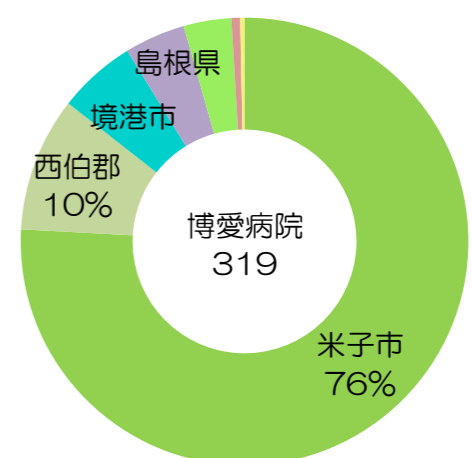
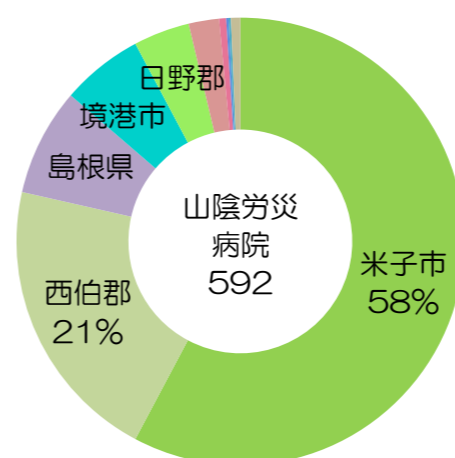
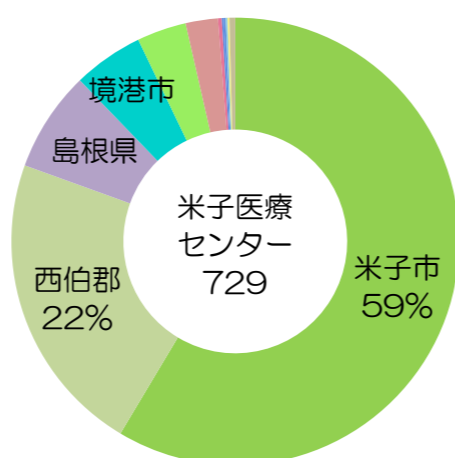
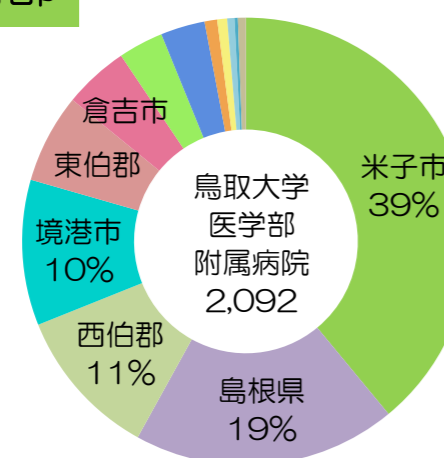
東部



中部



西部

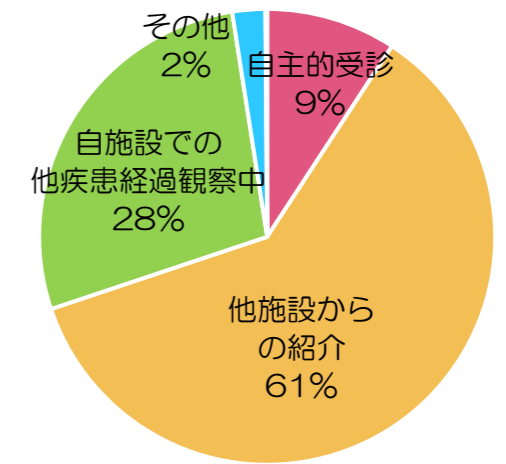


■鳥取市 ■米子市 ■倉吉市 ■境港市 ■岩美郡 ■八頭郡 ■東伯郡 ■西伯郡 ■日野郡 ■島根県 ■兵庫県 ■岡山県 ■その他

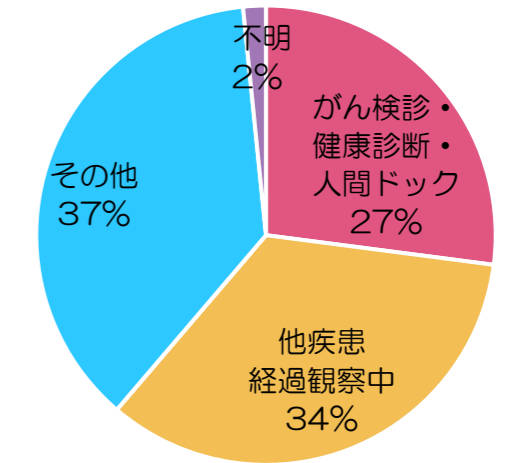
胃がんは、男性562件、女性251件で総数は813件、男性が女性の2.2倍を示す。
年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割強を占め、男性では65-74歳が、女性では75-84歳が最も多い。

ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、その割合は鳥取県が全国より4%多いが、ともに6割前後を占める。
ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期、Ⅲ期とも「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅳ期では「薬物療法」、「経過観察」が大半を占めるようになる。

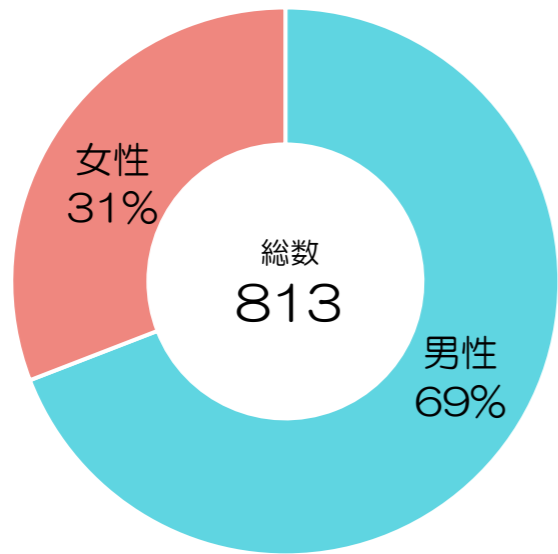
来院経路



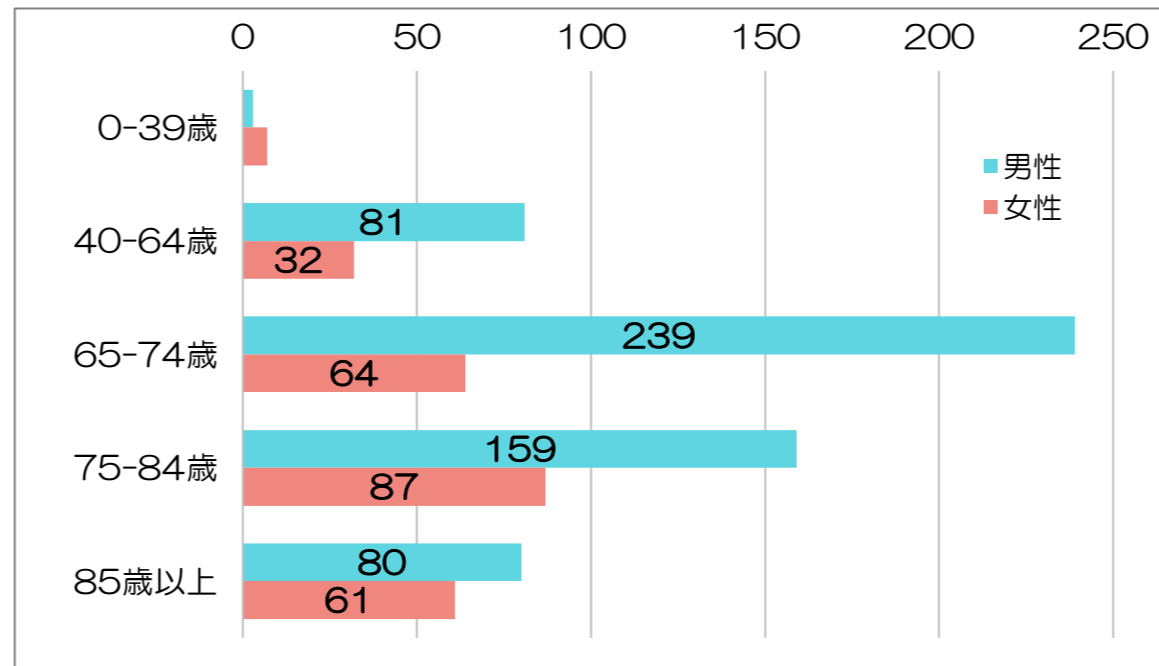
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

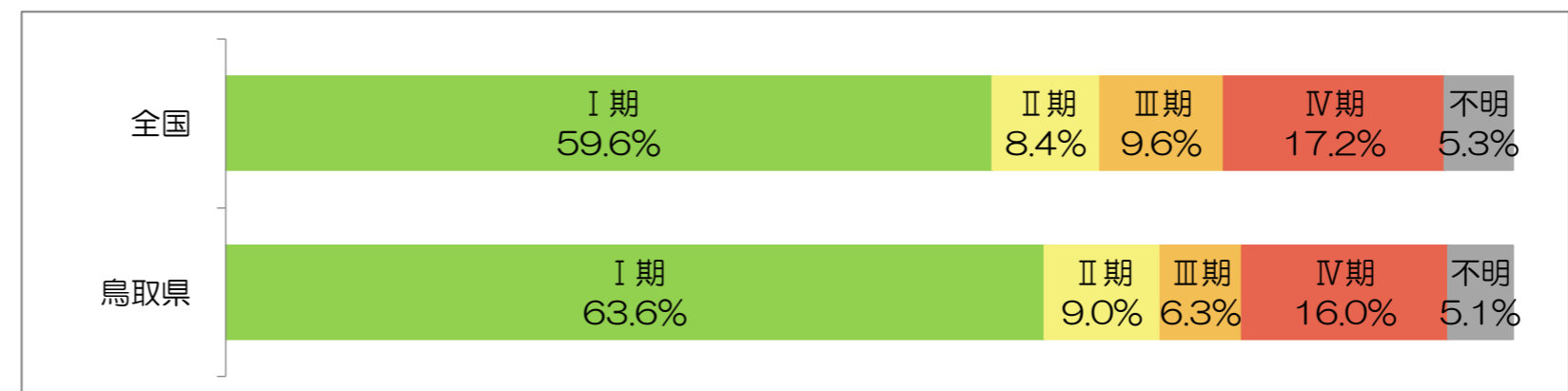


治療前ステージ別登録数

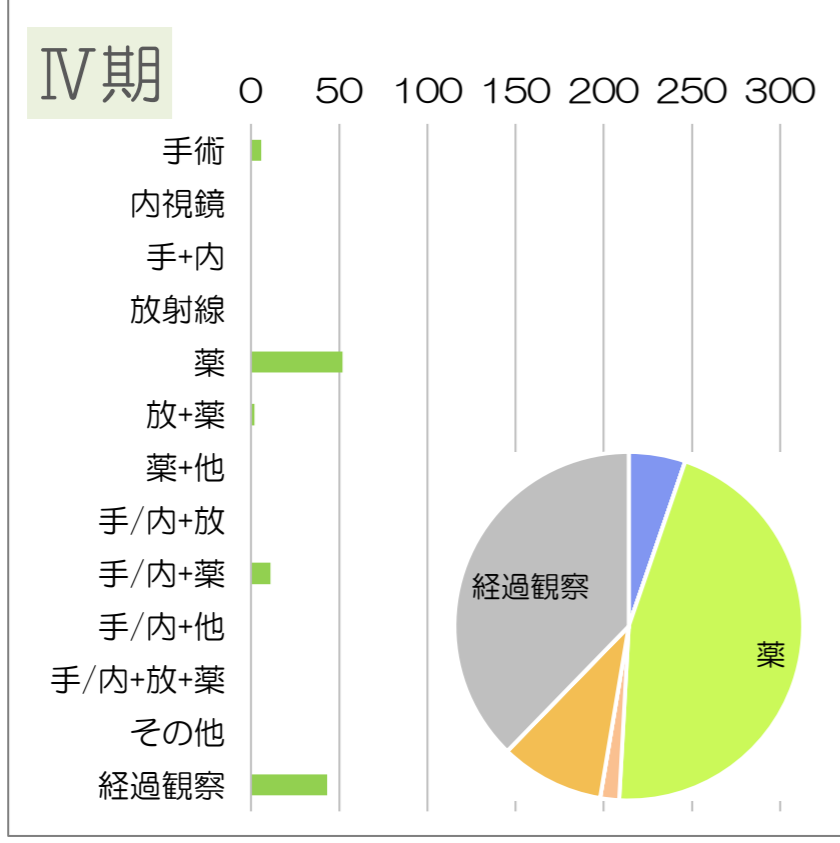
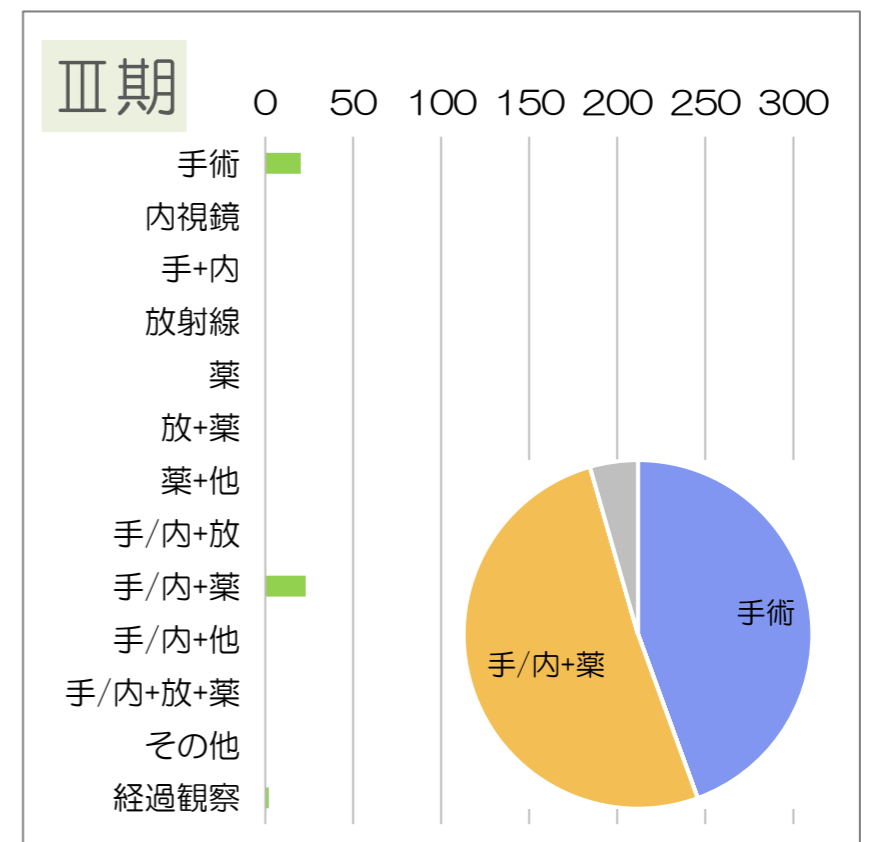
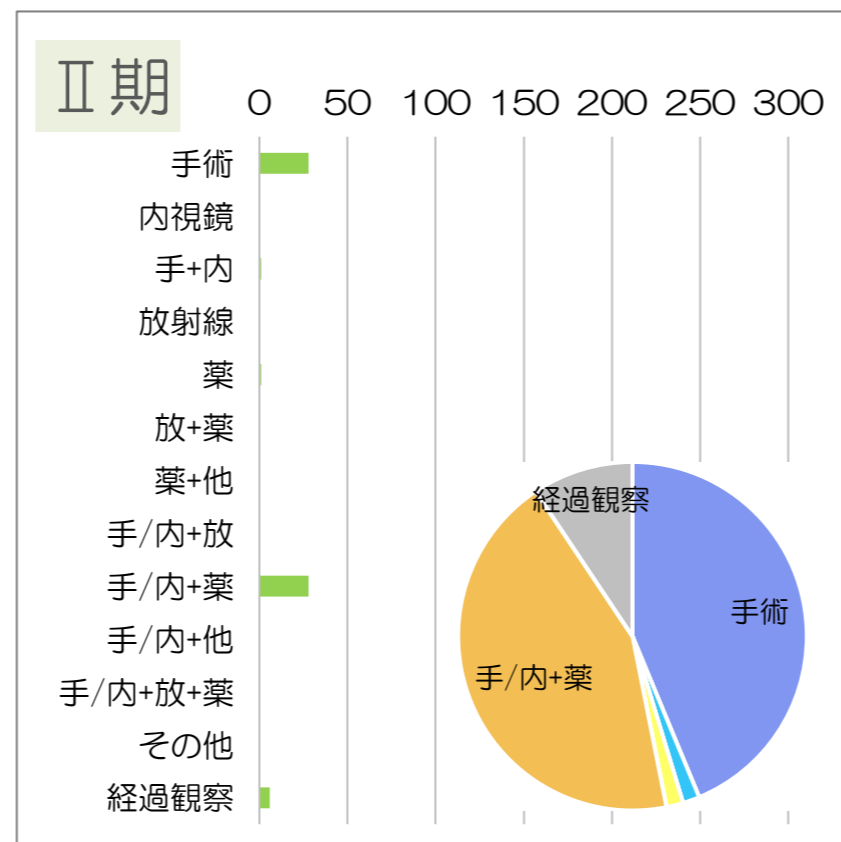
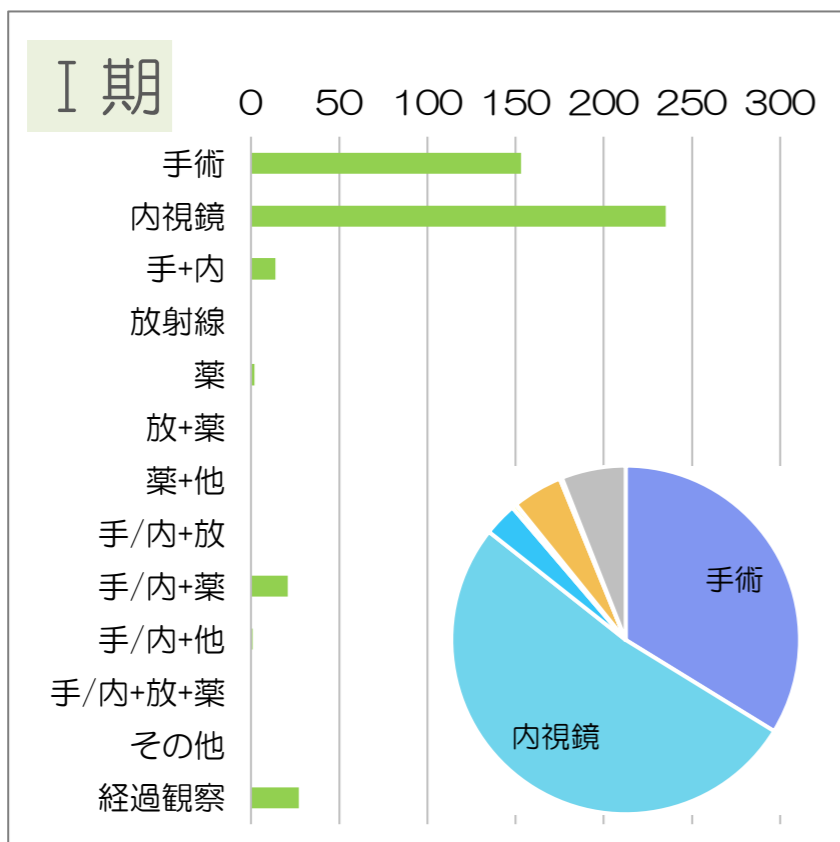
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
453	64	45	114	36	712

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



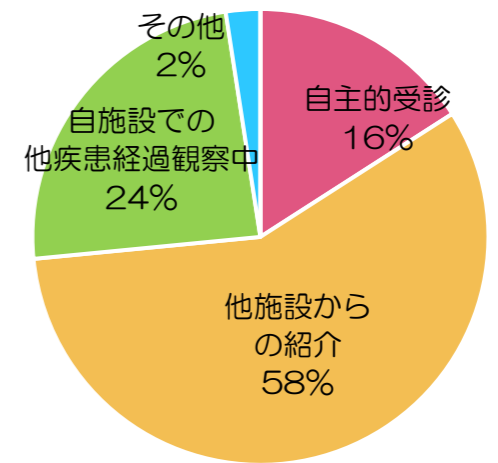
ステージ別治療方法



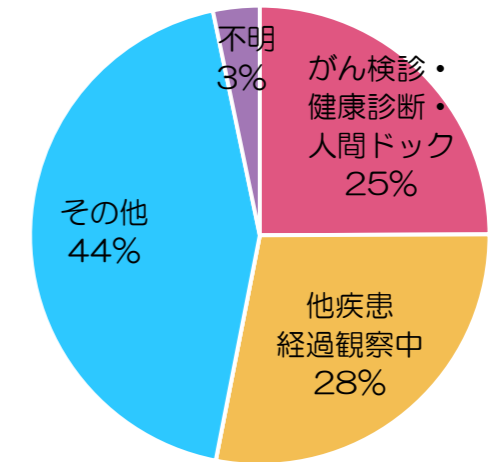
—大腸 (2020)—

大腸がんは、男性672件、女性515件で総数は1,187件、男性が女性の1.3倍を示す。年齢階級別には、男女とも65-74歳が最も多く、65歳以上では8割弱を占める。ステージ別には、全国、鳥取県ともにⅢ期が最も多く、次いでⅠ期、Ⅱ期、Ⅳ期の順。0期は全国が12.9%、鳥取県が8.9%と最も少ない。ステージ別の治療方法は、0期では「内視鏡」、Ⅰ期～Ⅲ期とも「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅳ期では「経過観察」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「薬物療法」、「手術」など多様でほぼ100%を占めるようになる。

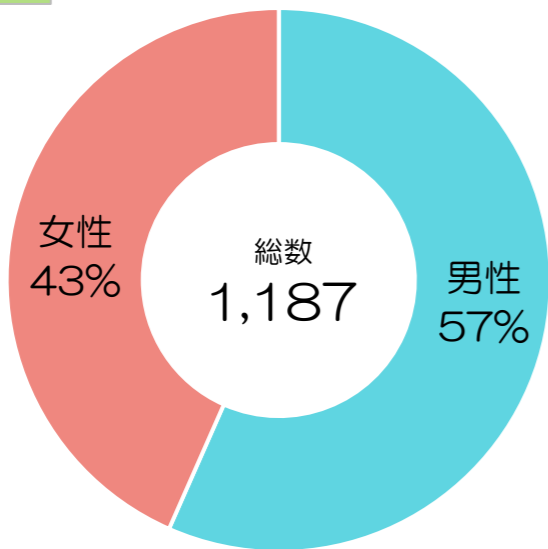
来院経路



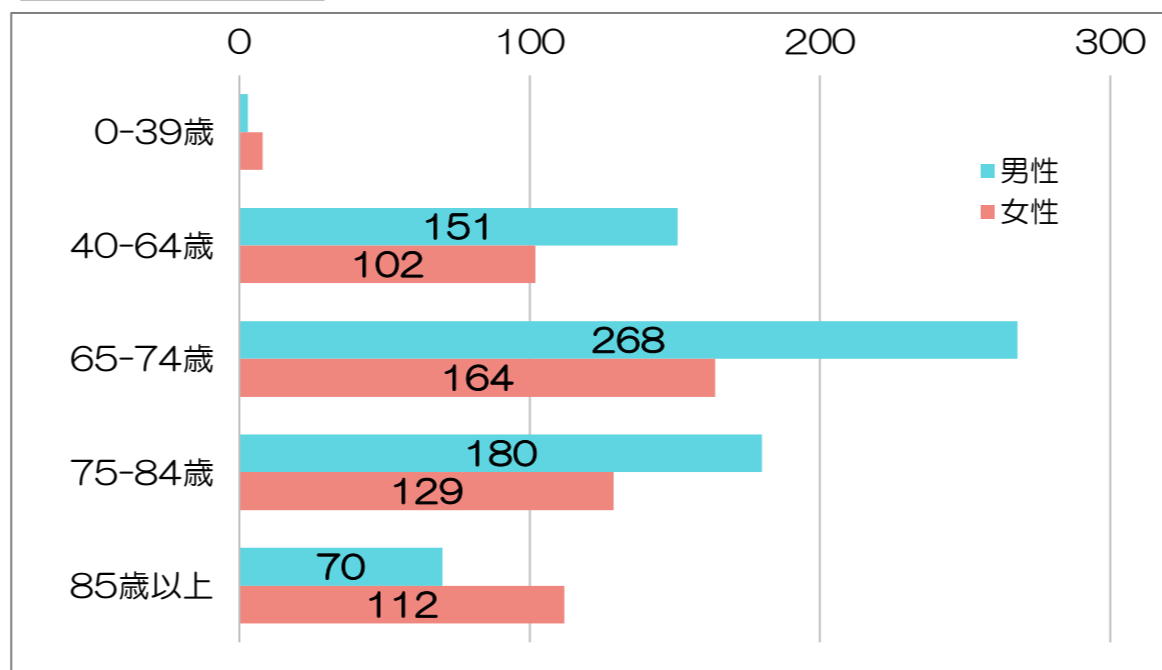
発見経緯



男女比



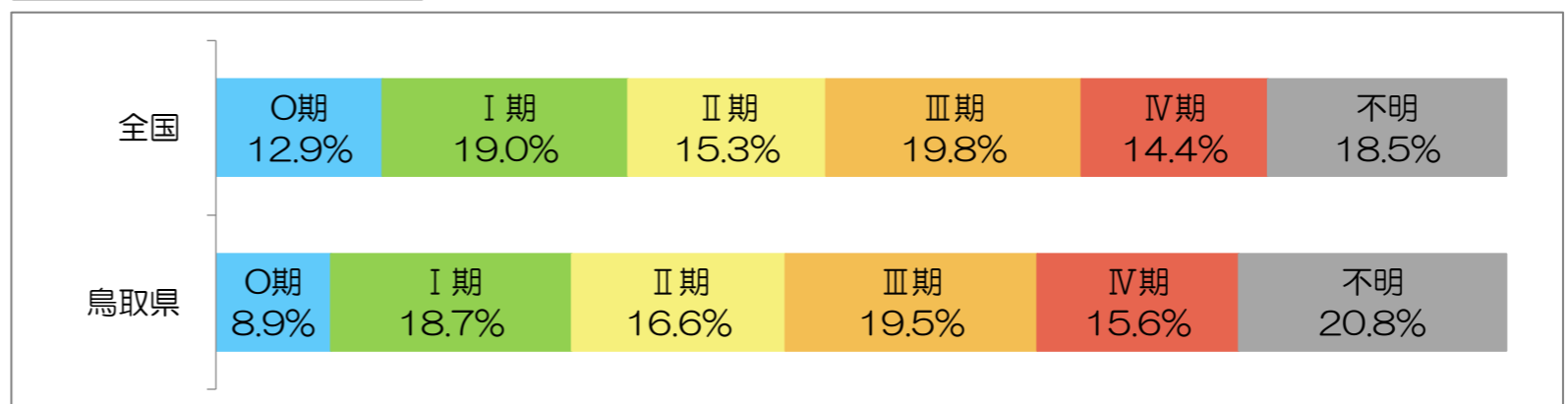
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

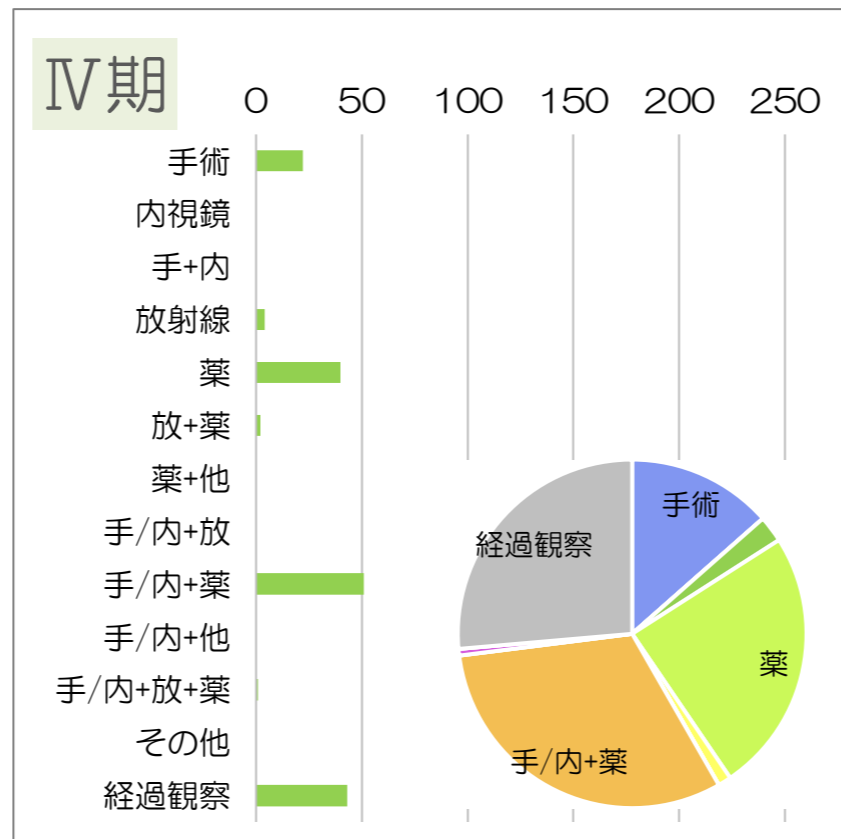
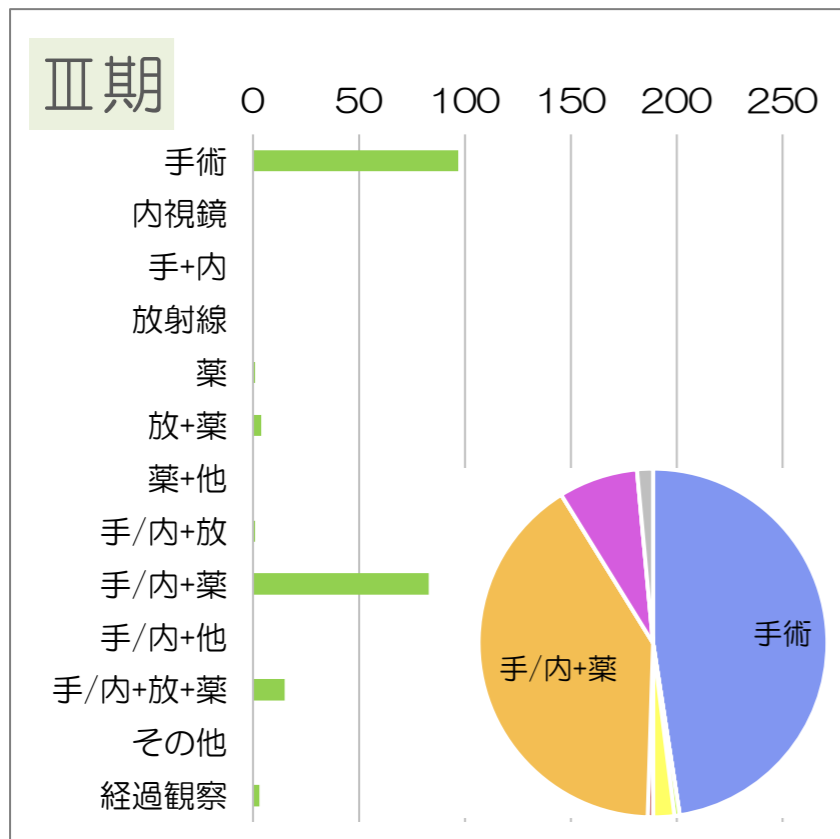
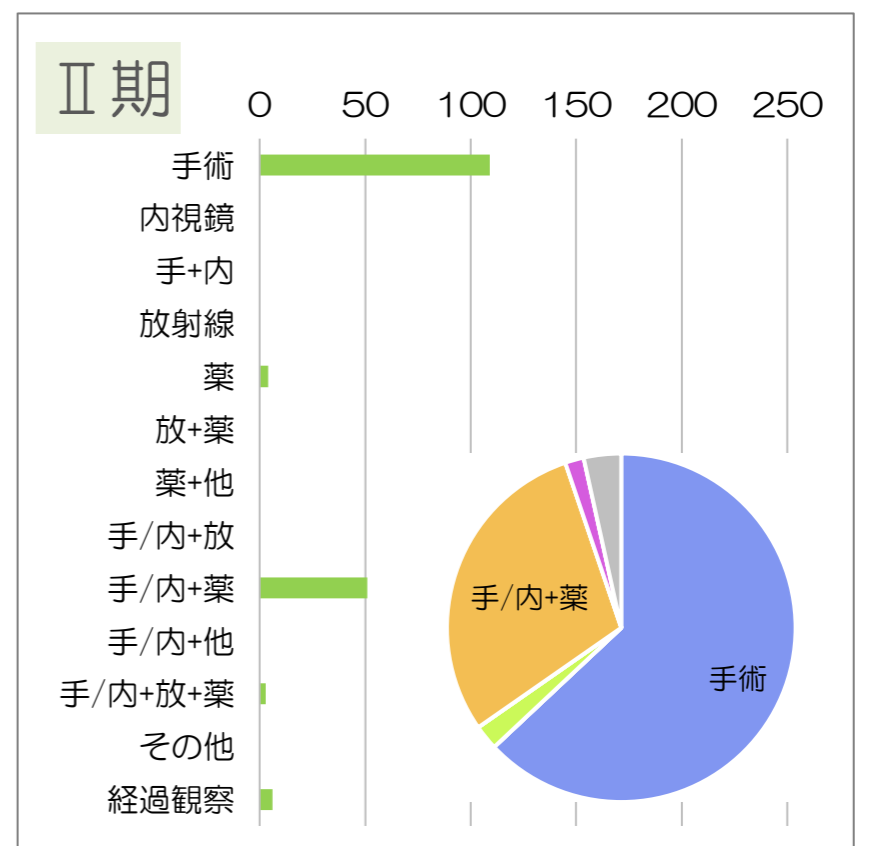
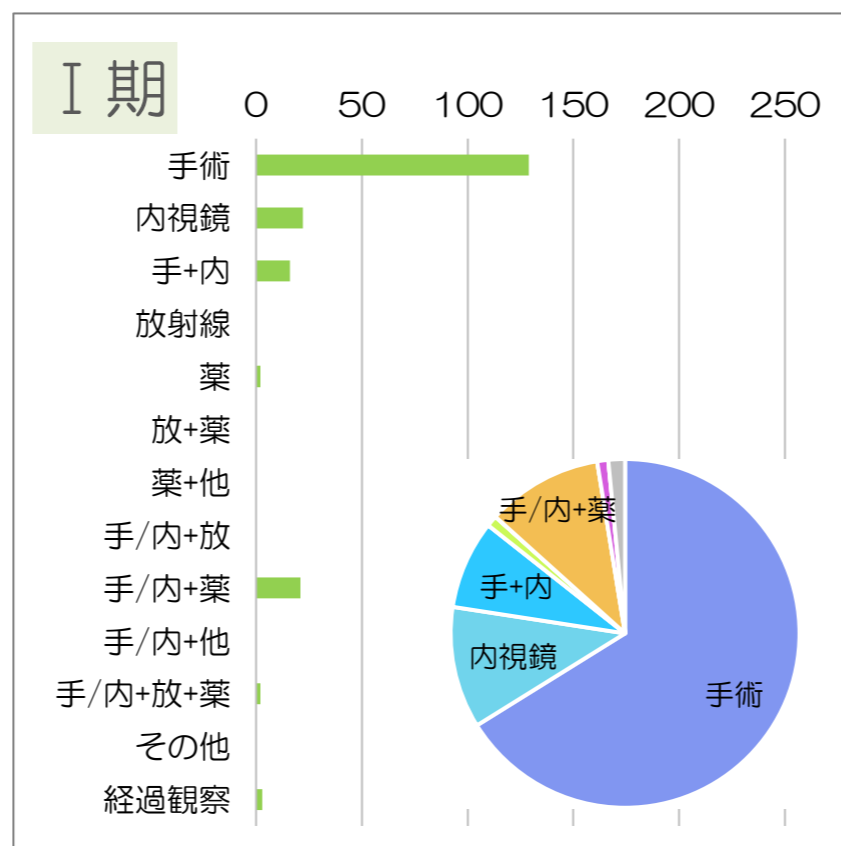
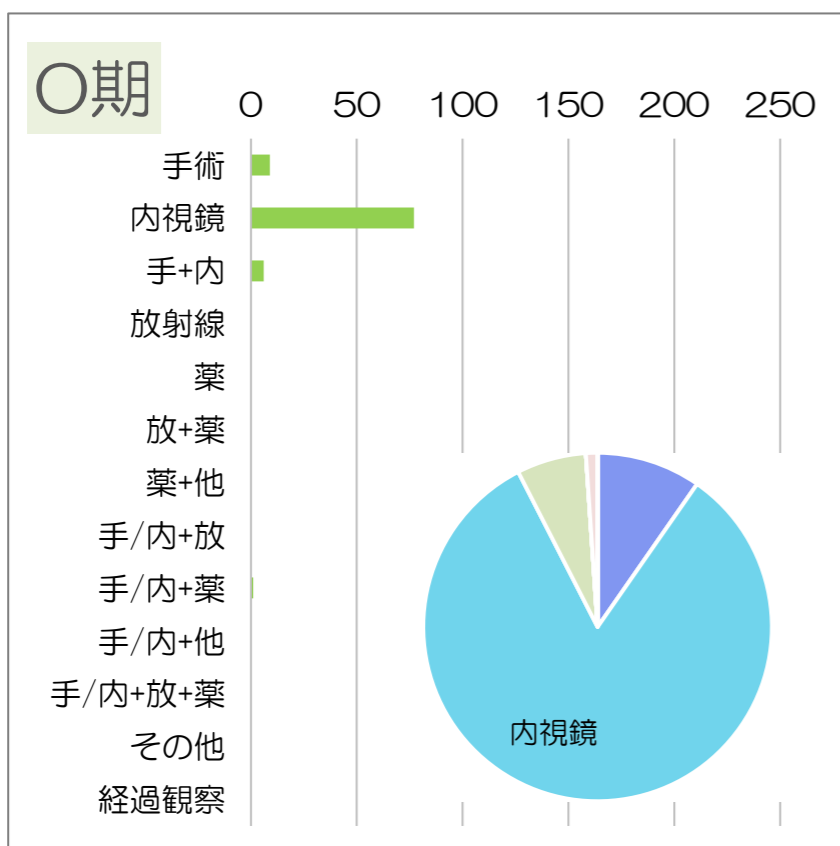
0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
93	195	173	204	163	217	1,045

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

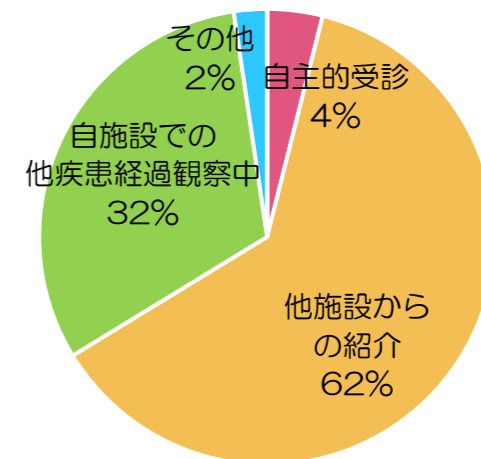
ステージ別治療方法



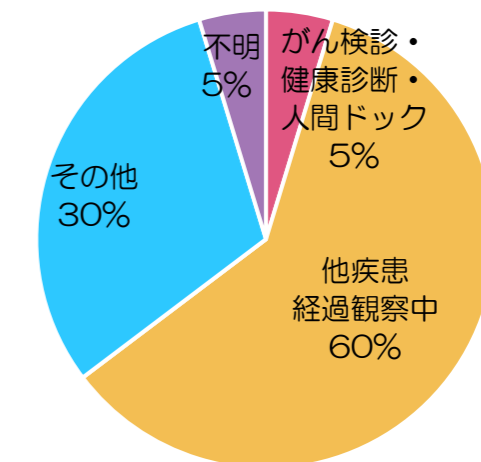
—肝臓 (2020)—

肝臓がんは、男性183件、女性72件で総数は255件、男性が女性の2.5倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男性では84%、女性は89%を占め、男性は65-74歳が最も多く、女性は65-74歳と75-84歳が多い。
 ステージ別には、I期が最も多く、その割合は全国が多いが、次いでII期、III期、IV期の順。II期のみ鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、I期では「薬物療法+その他」、「手術」、「その他」、II期では「薬物療法+その他」、「手術」、III期では「薬物療法」、「経過観察」、「薬物療法+その他」、IV期では「経

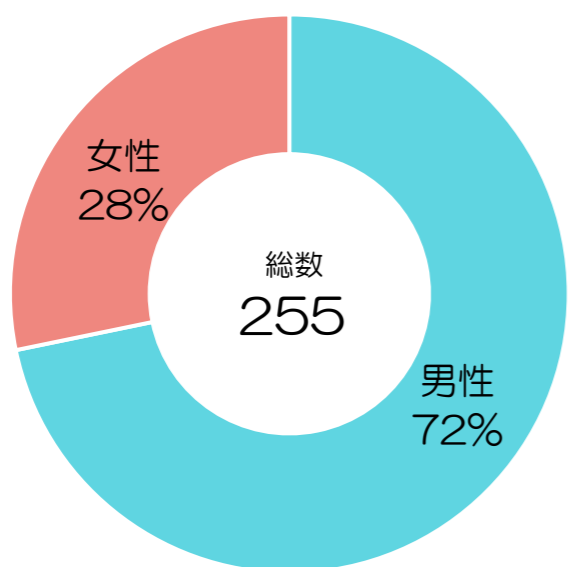
来院経路



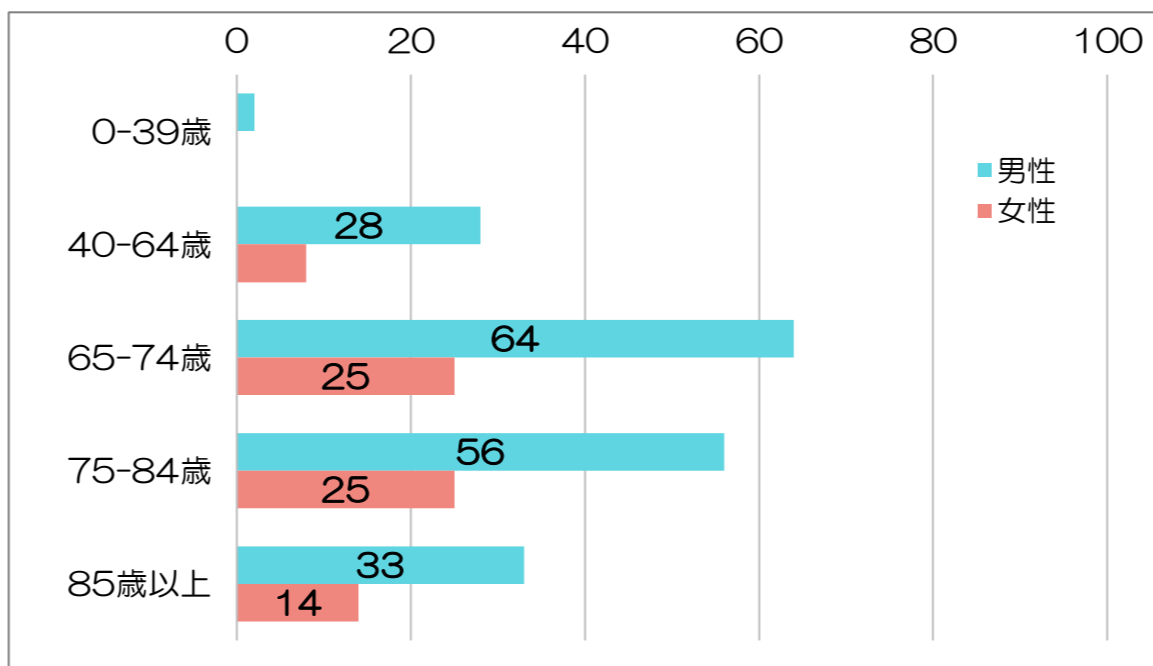
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

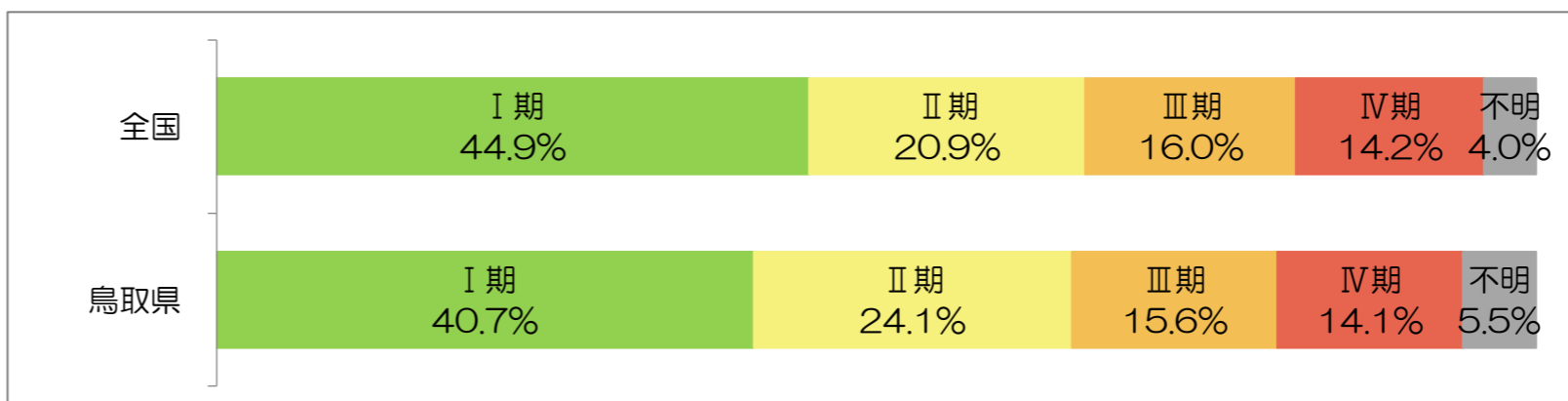


* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

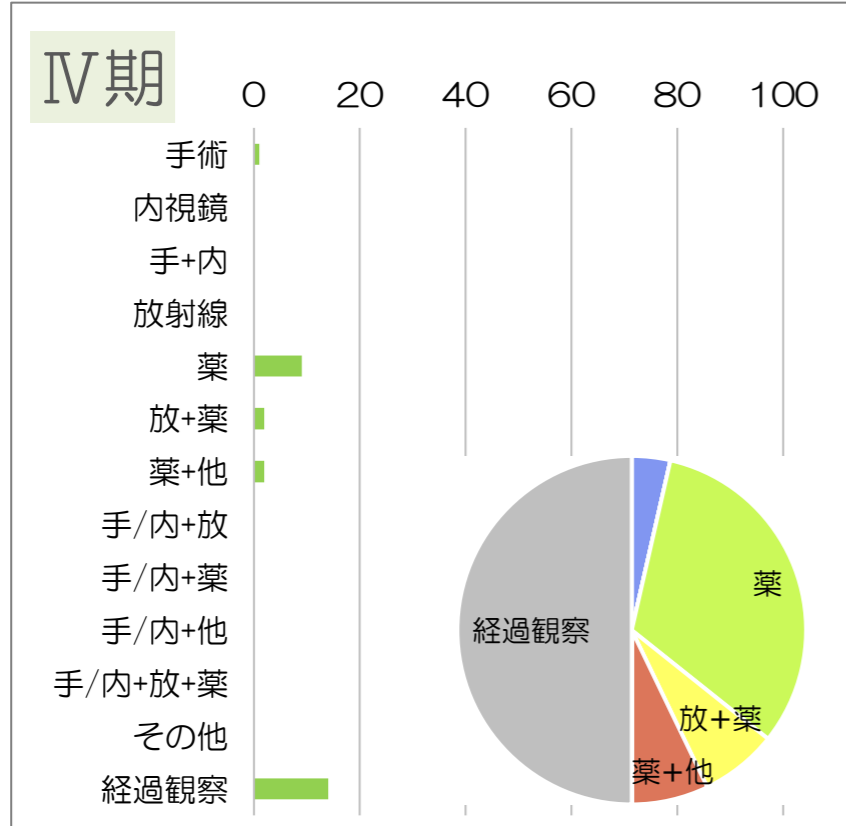
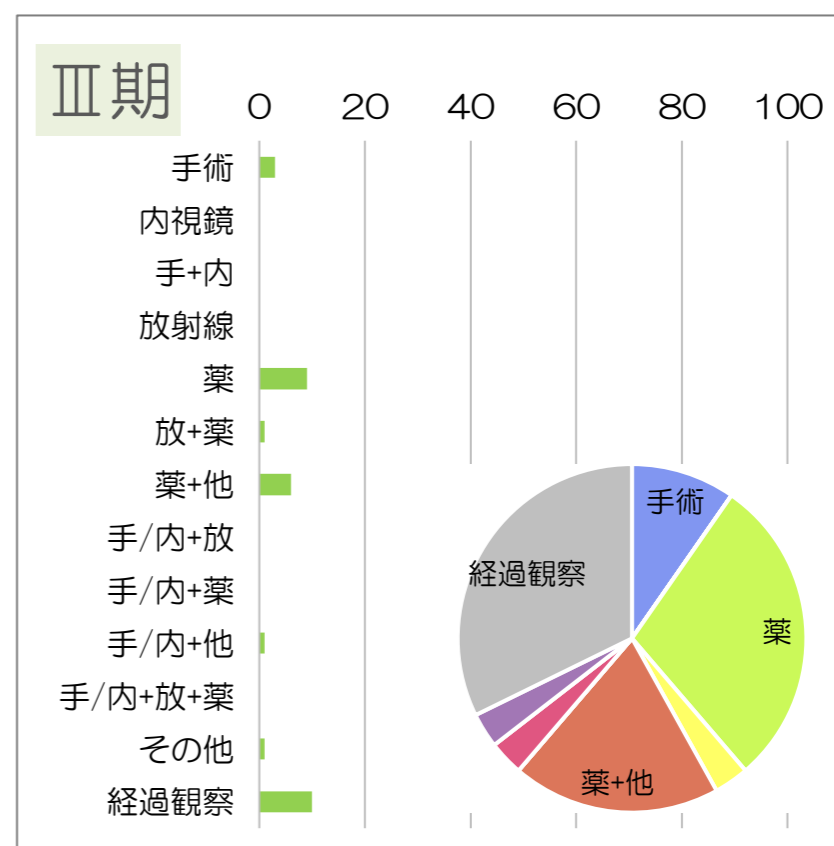
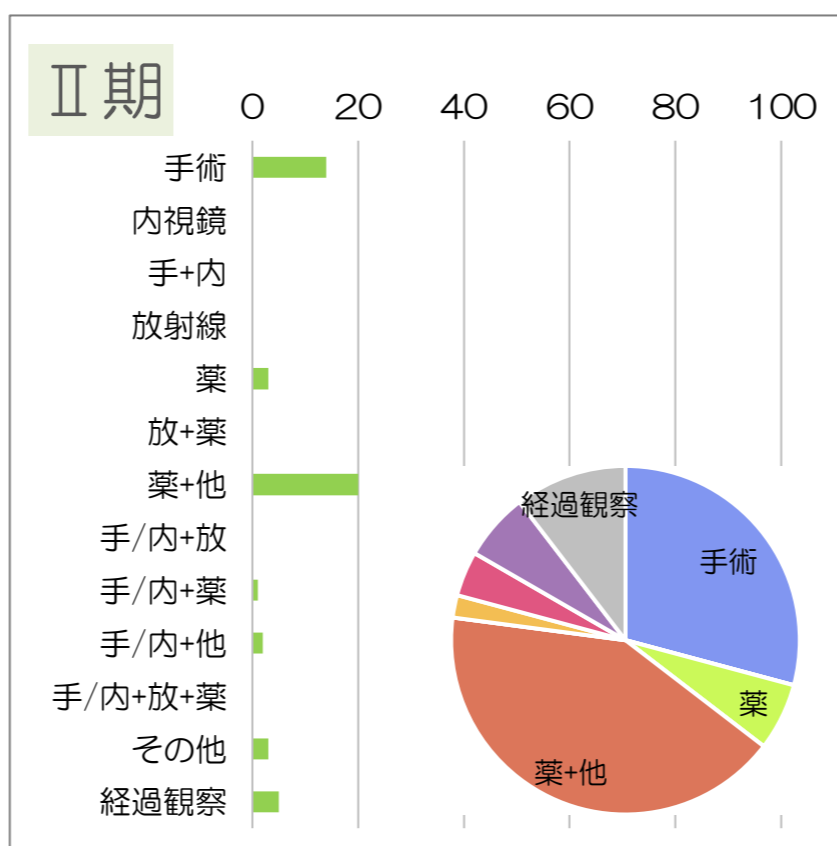
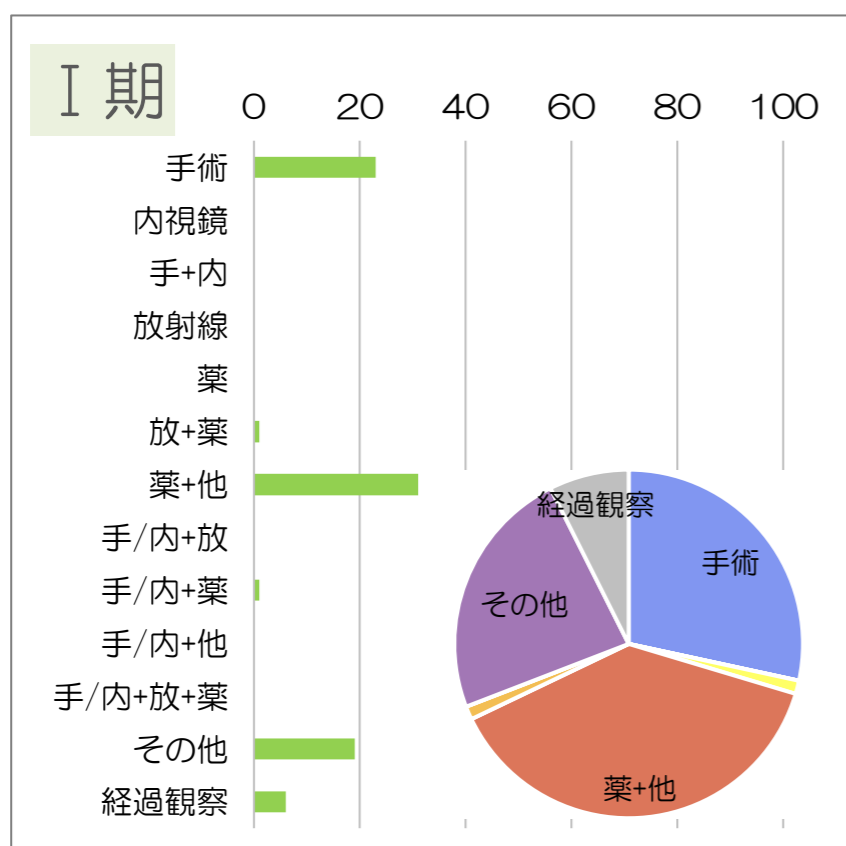
治療前ステージ別登録数

I期	II期	III期	IV期	不明	合計
81	48	31	28	11	199

治療前ステージ別割合

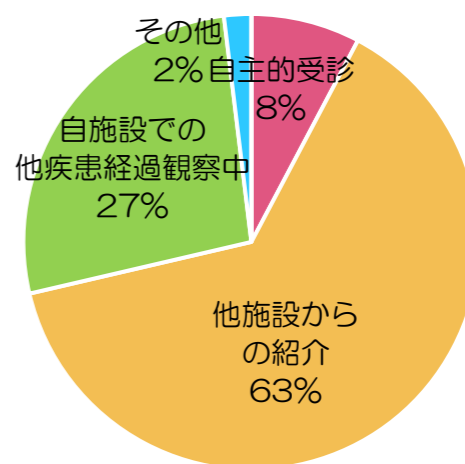


ステージ別治療方法

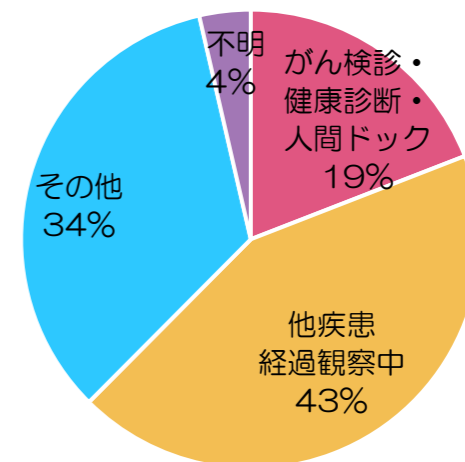


肺がんは、男性550件、女性225件で総数は775件、男性が女性の2.4倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男性では89%、女性では83%を占め、男女とも65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、鳥取県ではⅠ期が40%、Ⅳ期が32%と最も多いが、〇期～Ⅳ期ともすべて全国とほぼ同じ割合を示す。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「放射線」、「経過観察」、Ⅲ期では、「放射線+薬物療法」、「薬物療法」、「手術」、Ⅳ期では、「薬物療法」、「経過観察」が大半を占めるようになる。

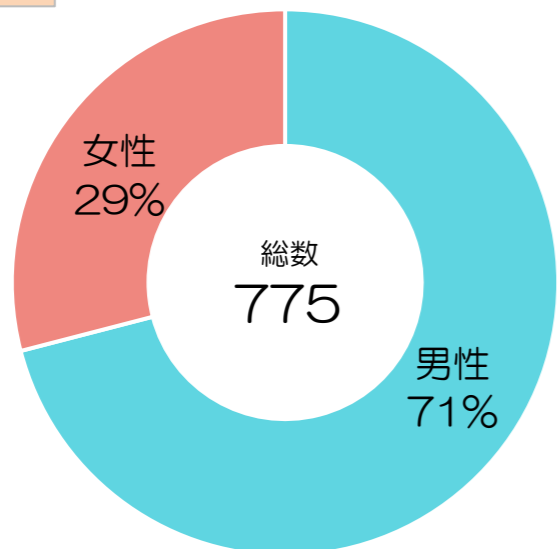
来院経路



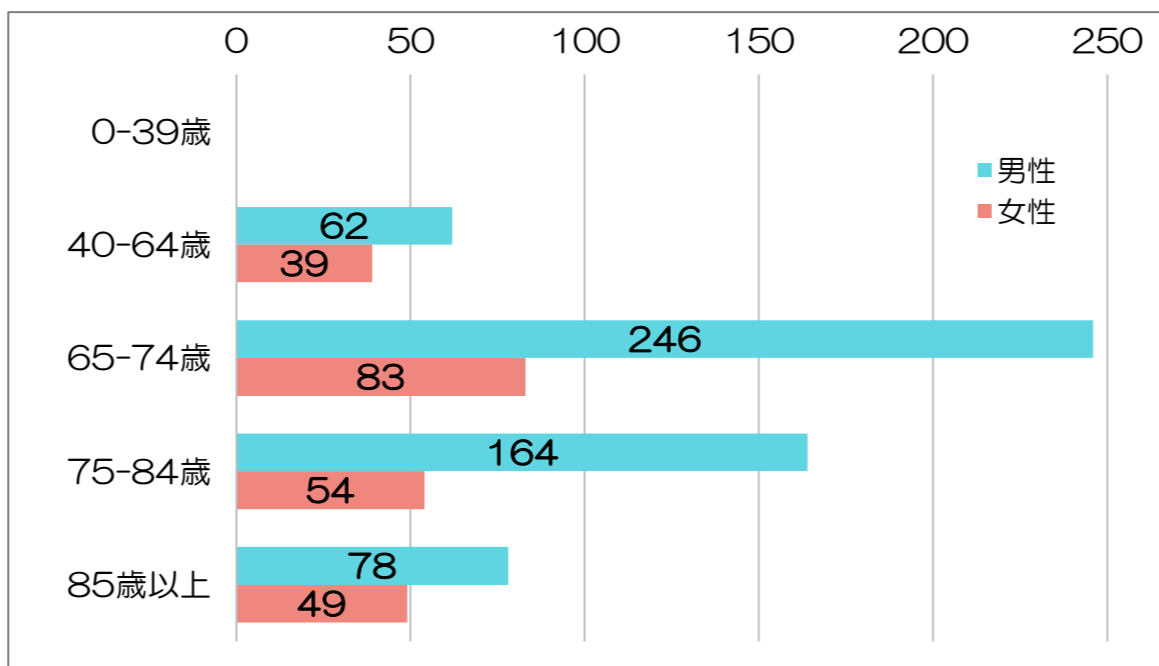
発見経緯



男女比



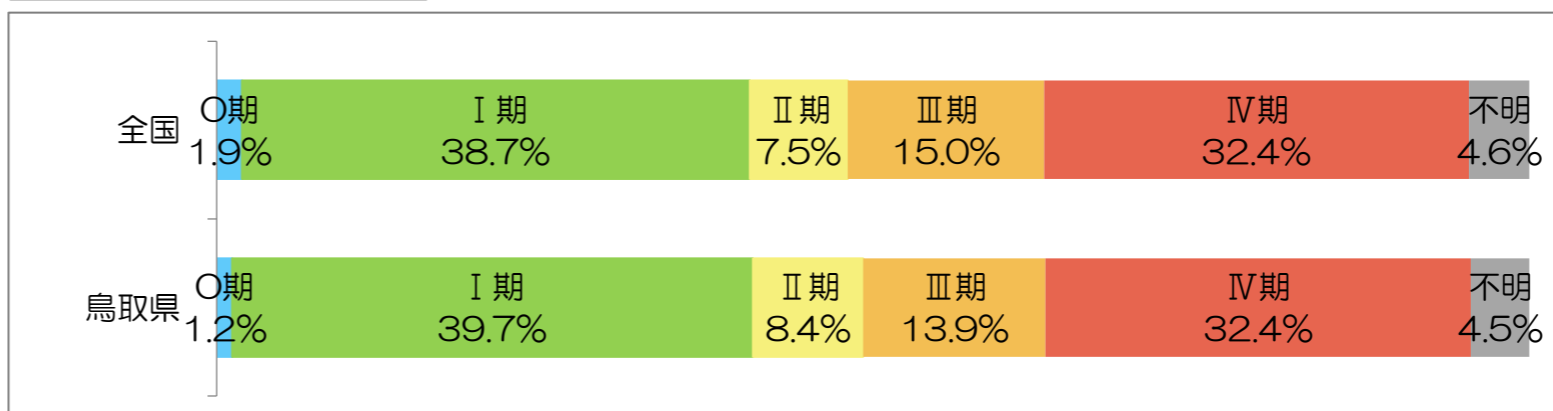
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

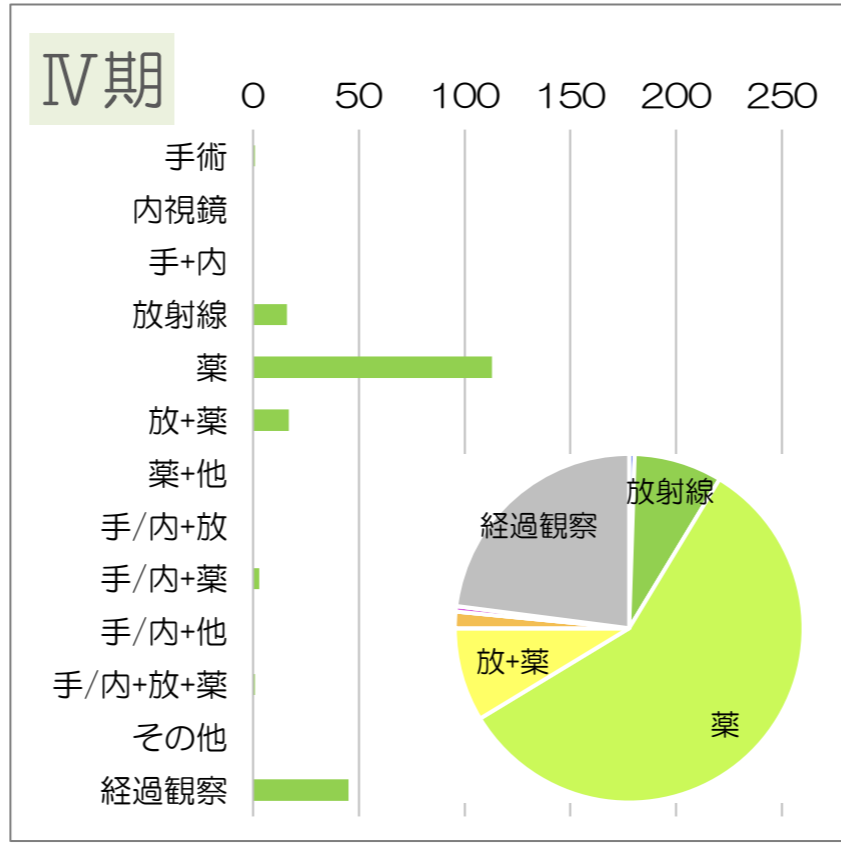
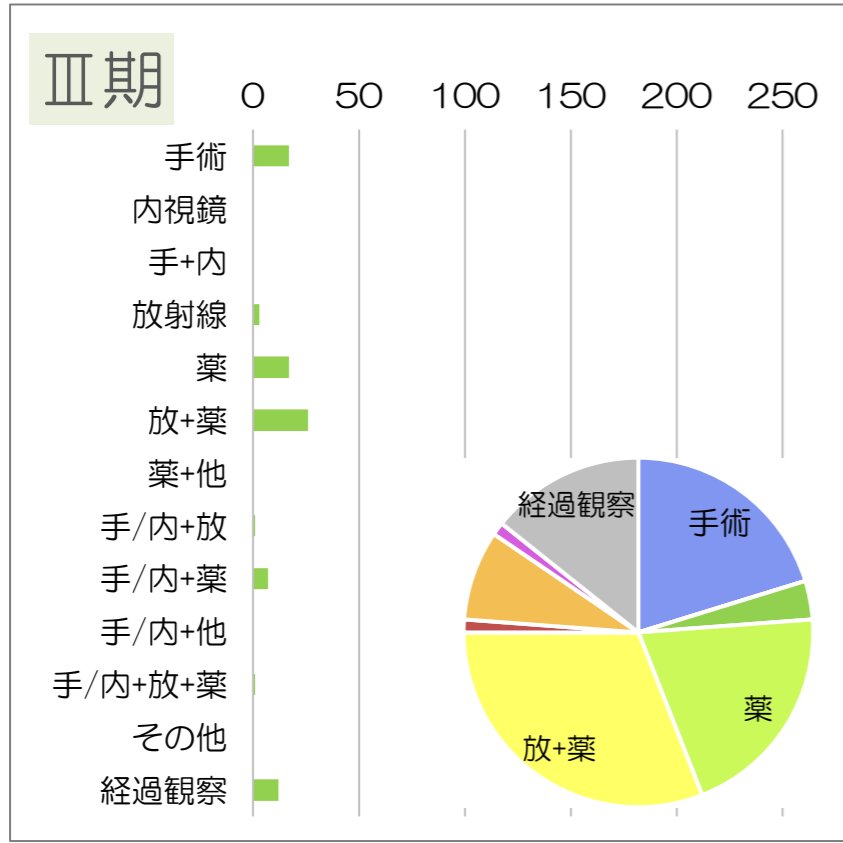
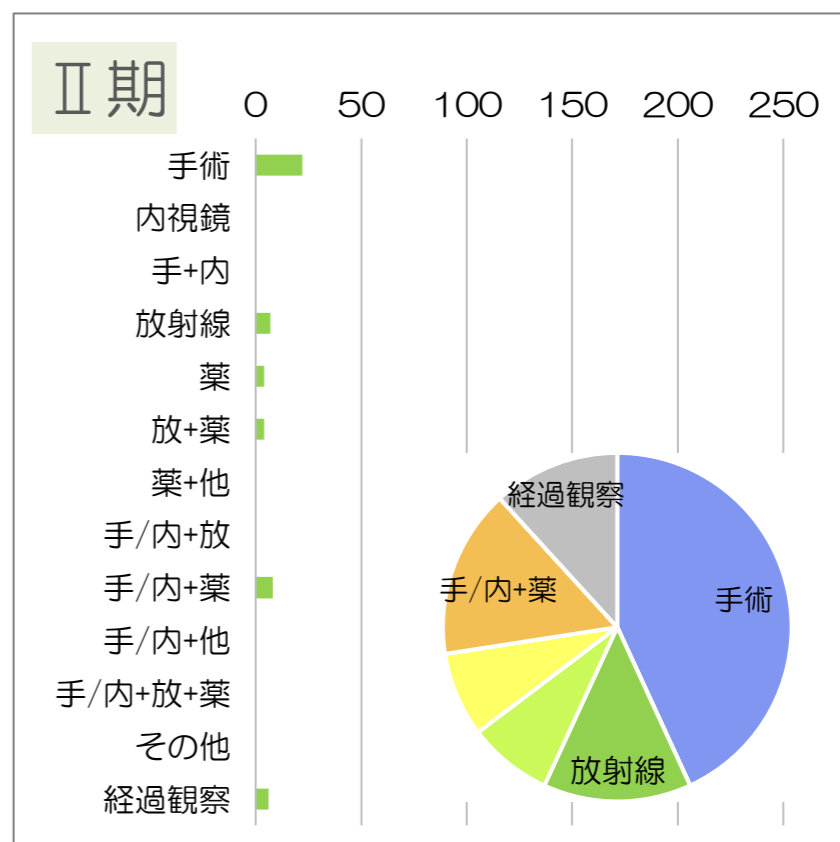
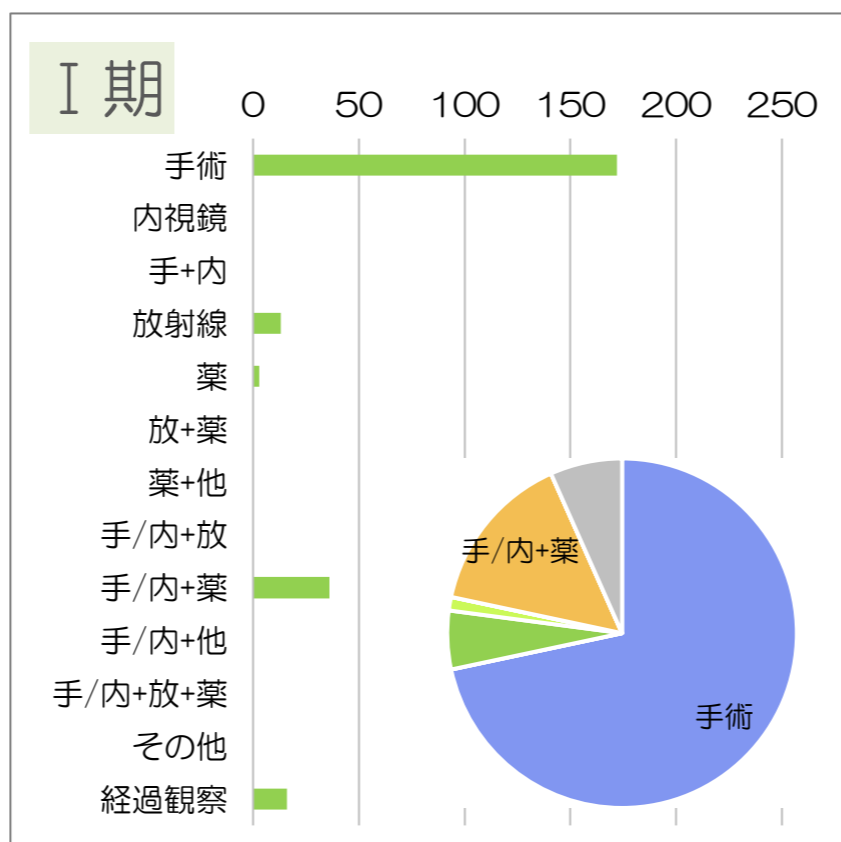
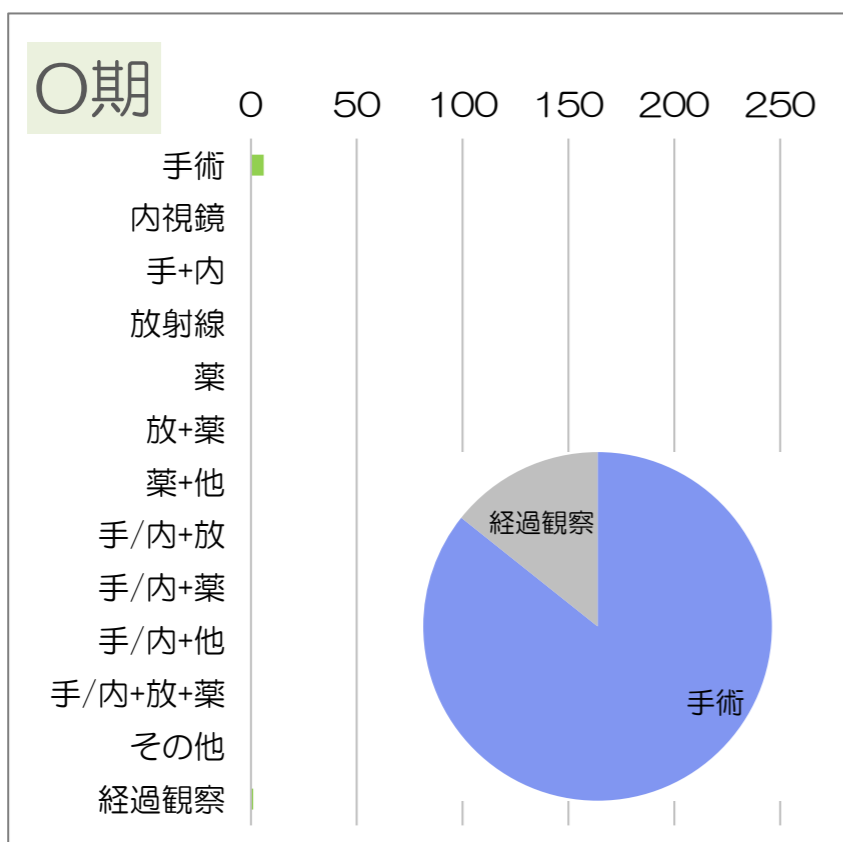
〇期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
(7-9)	240	51	84	196	27	605

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

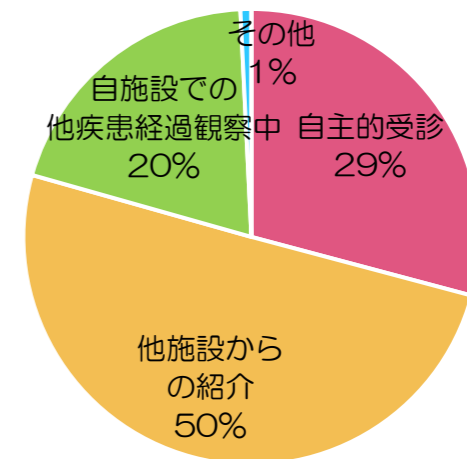
ステージ別治療方法



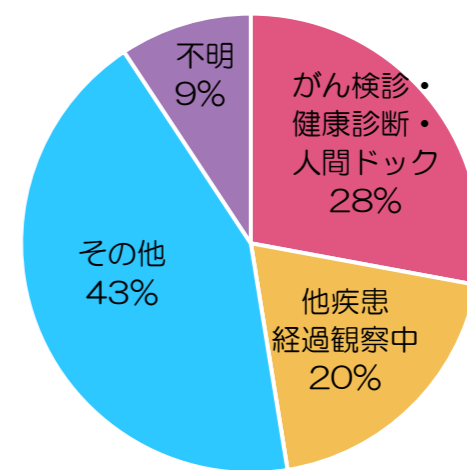
—乳房 (2020)—

乳がんは、総数は645件、男性はわずかに0.2%で、女性がほとんどを占める。
 年齢階級別には、40-64歳が44%でほぼ半数を占め、その後年齢とともに減少する。
 ステージ別には、I期が39.4%で最も多く、次いでII期、0期の順。0期は全国が多いが、I期～IV期は鳥取県、全国ともほぼ同じ割合を示す。
 ステージ別の治療方法は、0期では「手術/内視鏡+薬物療法」と「手術」、I期～III期では、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」と「手術/内視鏡+薬物療法」、IV期では「薬物療法」が最も多く57.1%、それに加えて「手術/内視鏡+薬物療法」、「放射線+薬物療法」との組合せで大半を占めるようになる。

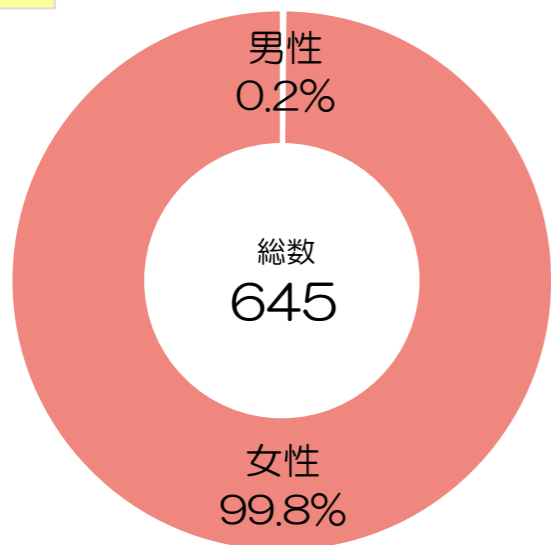
来院経路



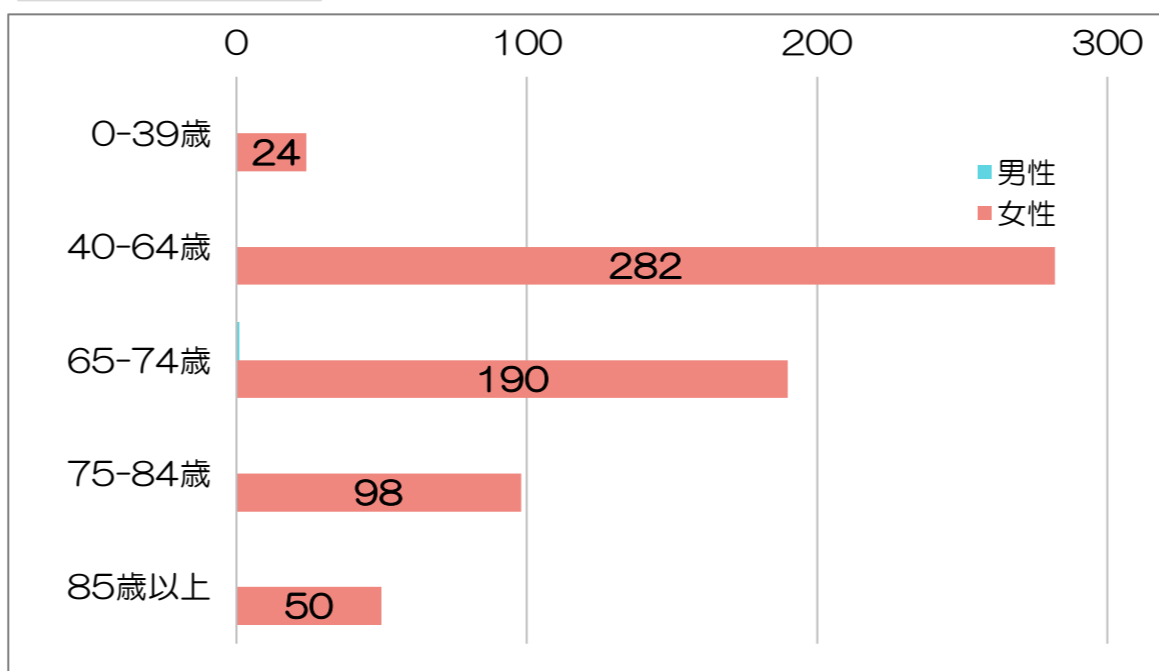
発見経緯



男女比



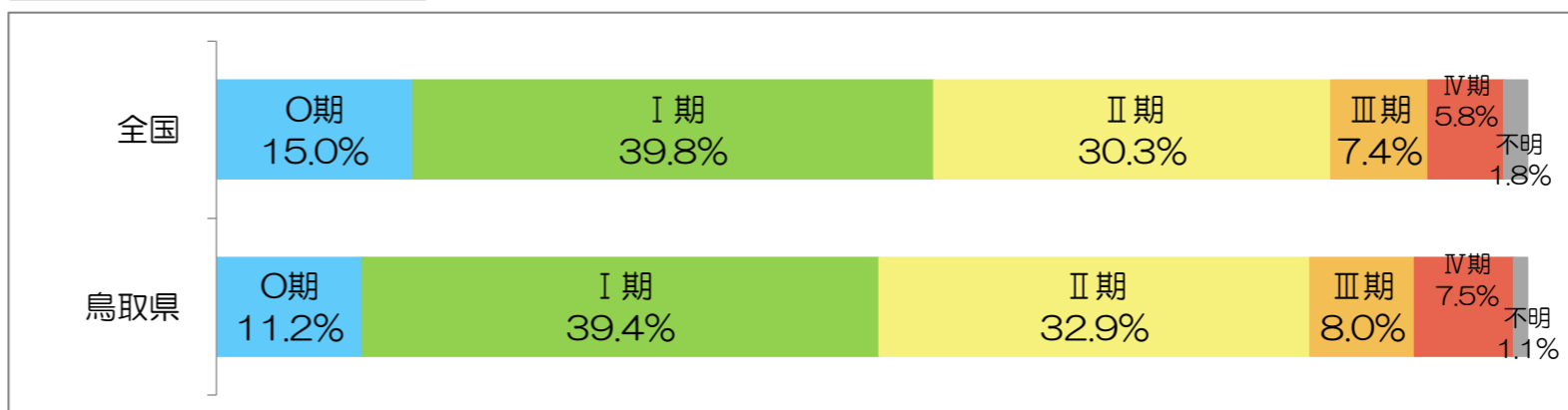
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

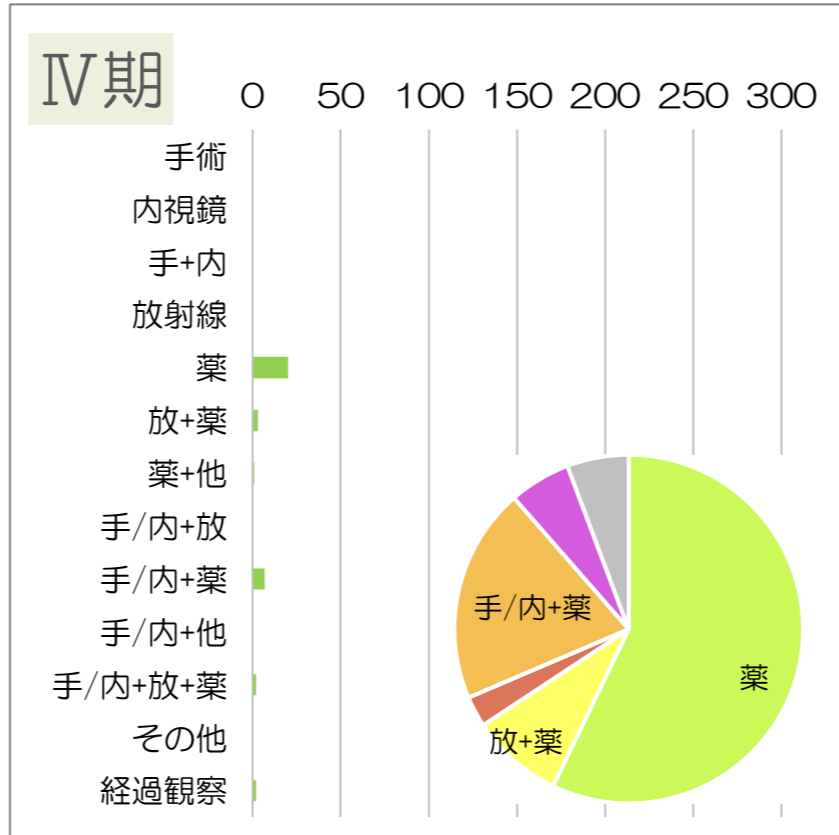
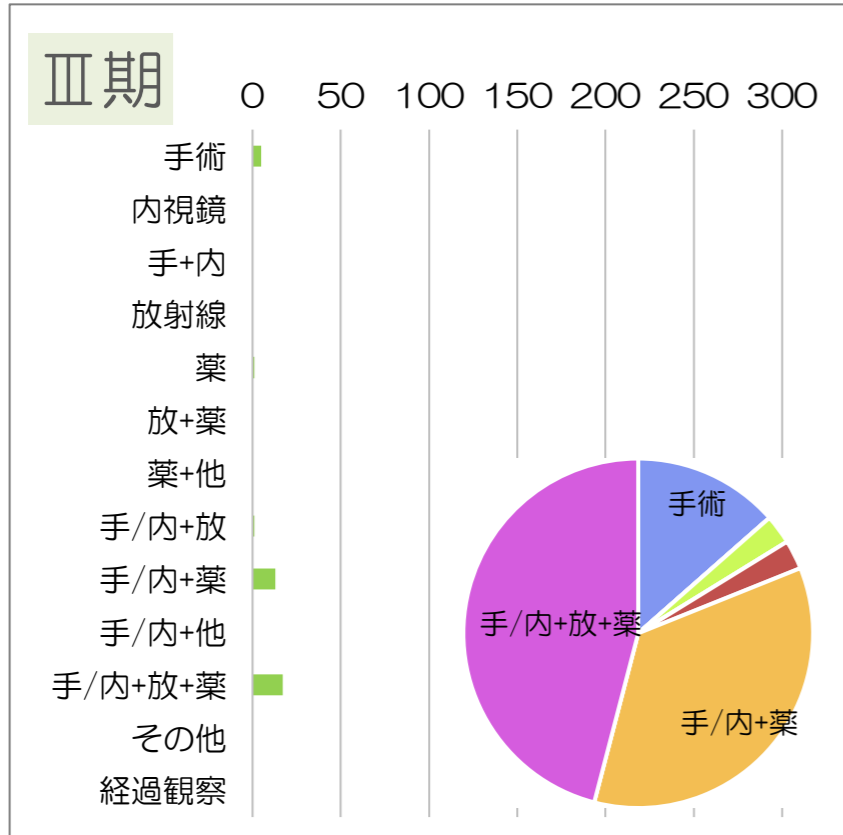
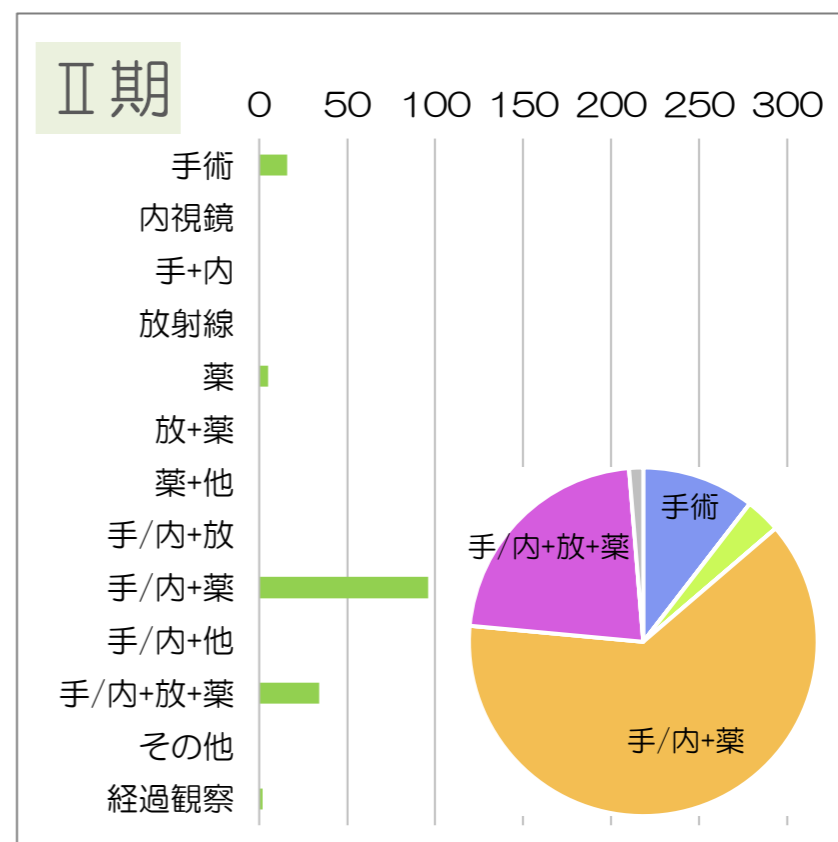
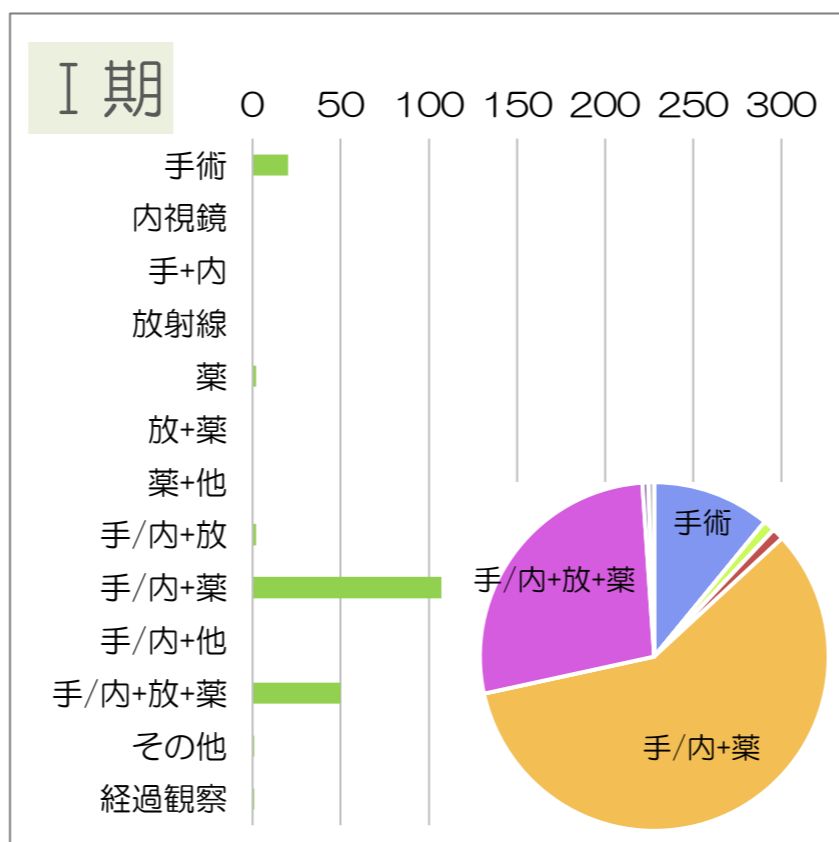
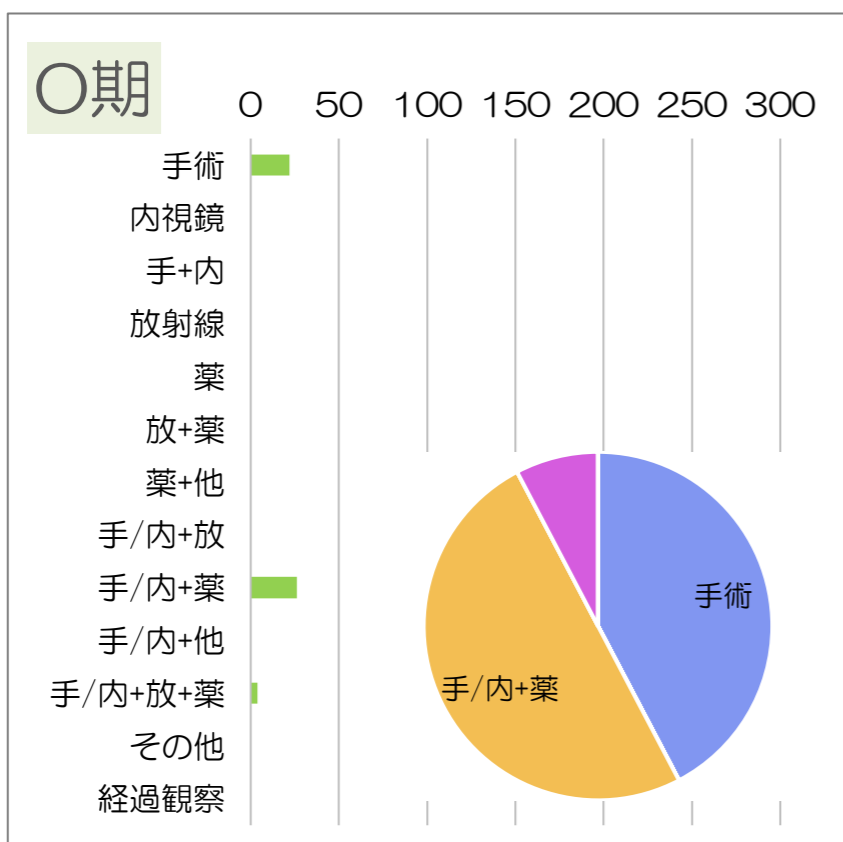
0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
52	183	153	37	35	(4-6)	465

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

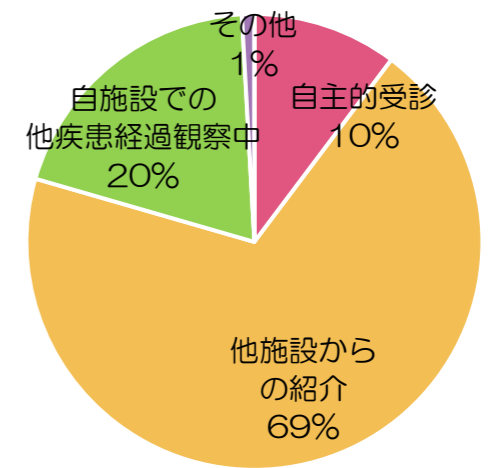
ステージ別治療方法



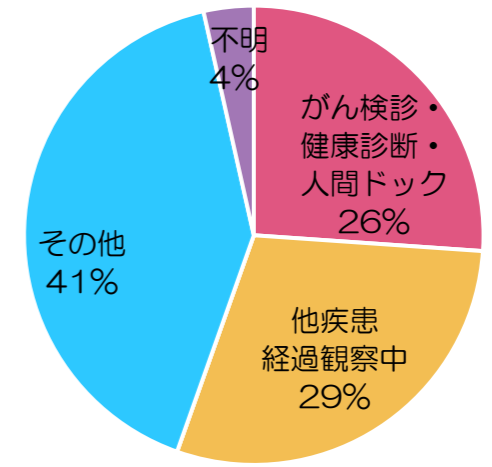
子宮 (2020)

子宮がんは、総数341件、年齢階級別には、40-64歳が179件の52%で最も多く、ほぼ半数以上を占めるが、40歳未満では72件の21.1%を示す。
 ステージ別には、鳥取県、全国ともに子宮頸部は0期が最も多く59%、66%、子宮体部はI期が最も多くともに72%を占める。
 ステージ別の治療方法は、0期では「手術」がほとんどで、I期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」で大半を占め、II期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「放射線」、「薬物療法」、「経過観察」が加わり、III期では、「放射線+薬物療法」がほぼ3/4を占め、その他「薬物療法」と「放射線」が1/4、さらに、IV期では「放射線+薬物療法」、「薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」が加わり多様となっている。

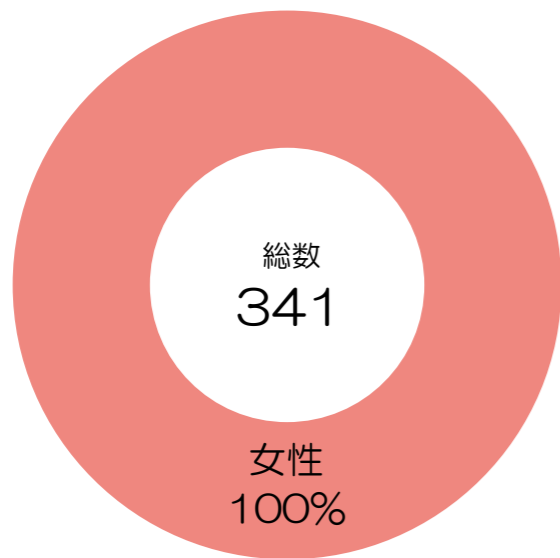
来院経路



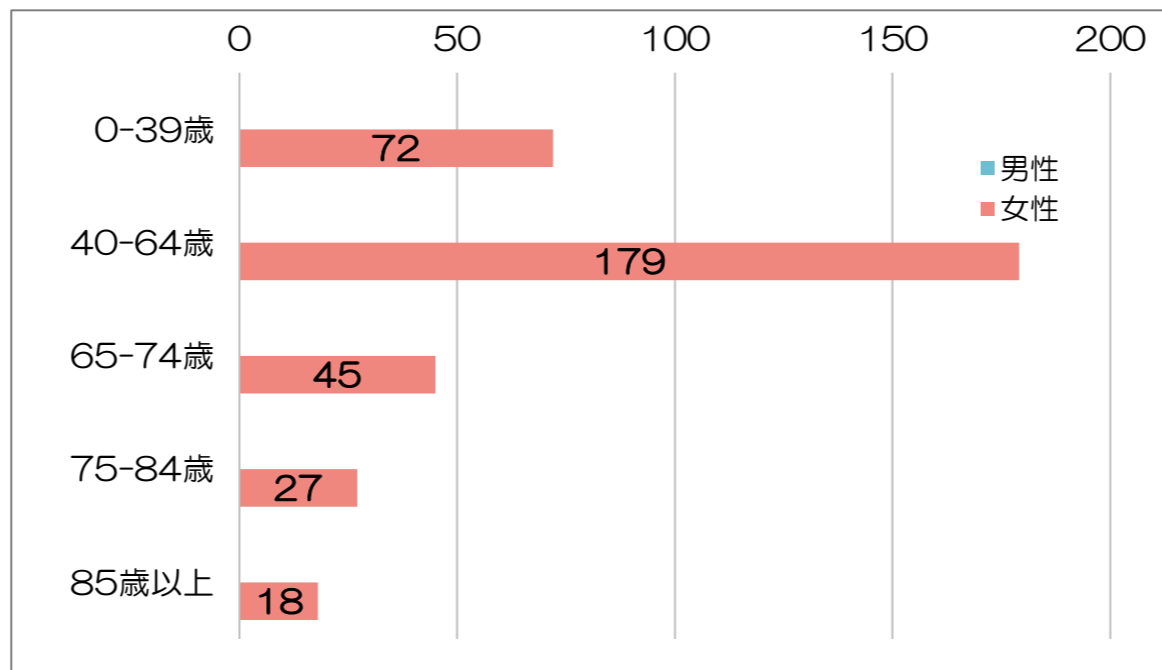
発見経緯



男女比



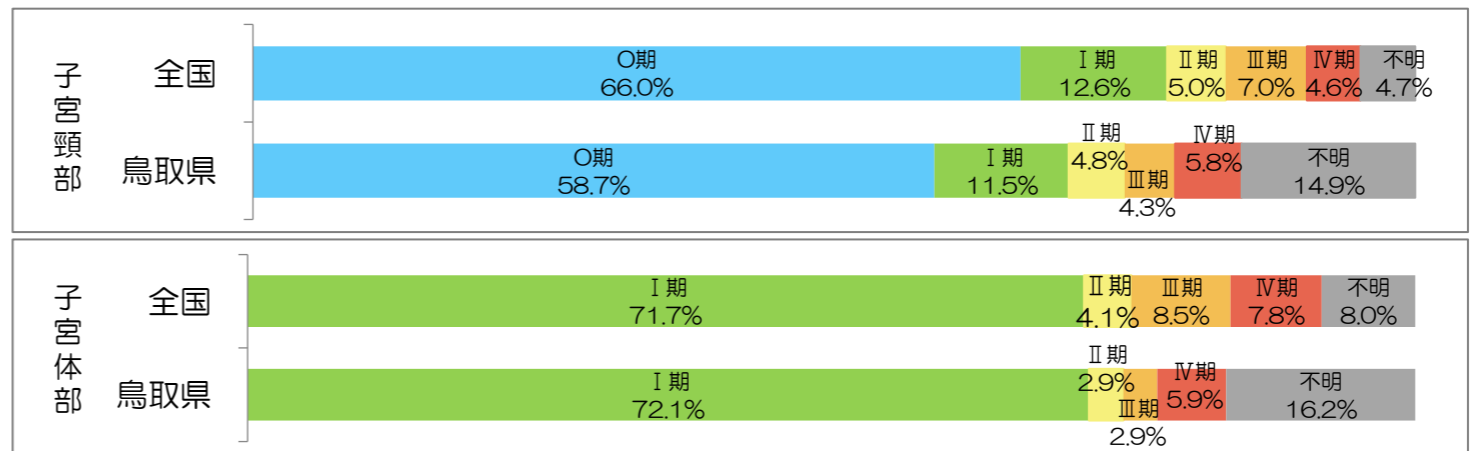
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
子宮頸部	122	24	10	(7-9)	12	31	208
子宮体部	-	49	(1-3)	(1-3)	(4-6)	11	68

治療前ステージ別割合



ステージ別治療方法



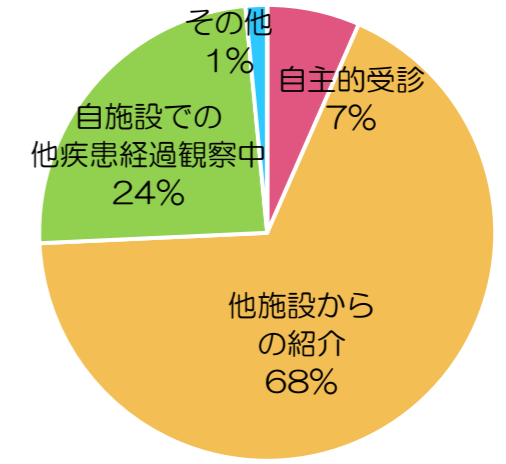
—前立腺 (2020)—

前立腺がんは、総数653件、年齢階級別には、65-74歳は259件と最も多く、40%を占め、65歳以上は89%を示す。

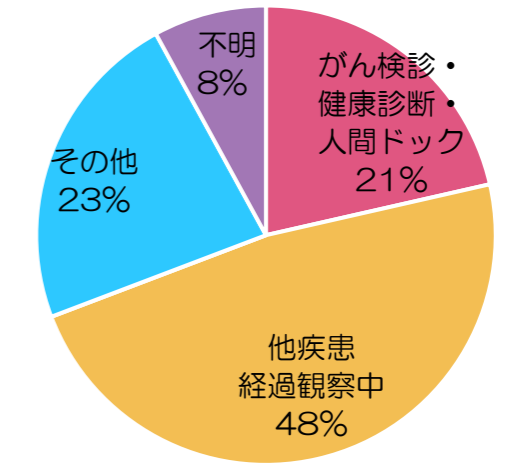
ステージ別には、鳥取県、全国ともⅠ期が最も多く30.5%、45.5%、Ⅱ期はほぼ同じで、Ⅲ期、Ⅳ期は鳥取県が多い。

ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「薬物療法」、「経過観察」で8割、これに「放射線+薬物療法」が加わり多種多様、Ⅱ期では「薬物療法」、「手術」が大半を占め、Ⅲ期では、これに「放射線+薬物療法」が加わり96%となり、Ⅳ期では治療のほとんどが「薬物療法」で87%を占める。

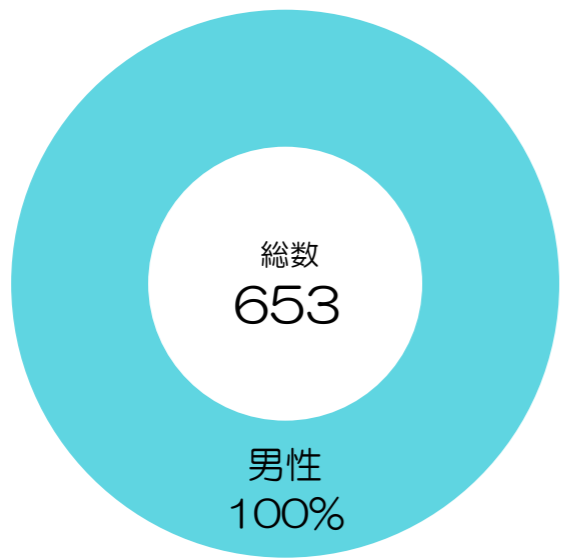
来院経路



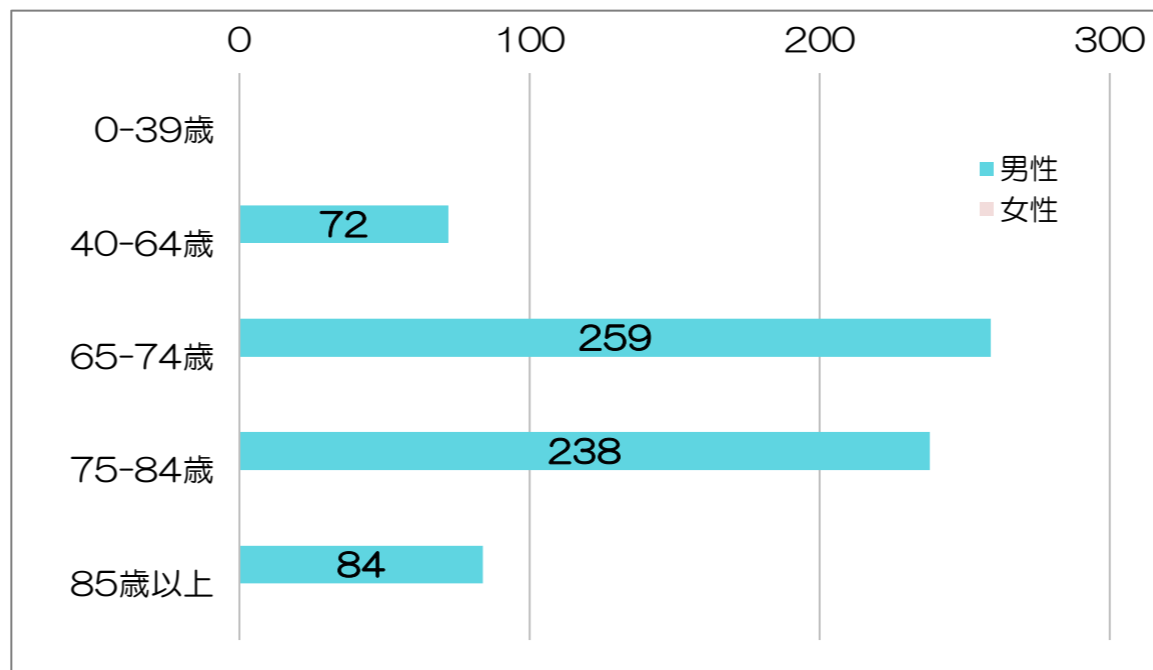
発見経緯



男女比



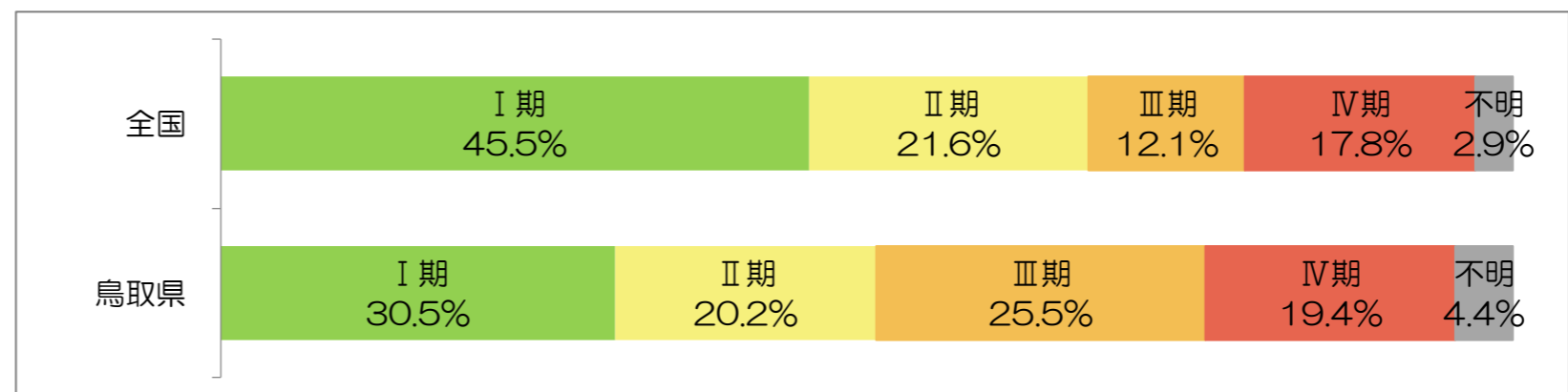
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
145	96	121	92	21	475

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

ステージ別治療方法

